

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### ⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

### ※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

### 補足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## < 施工の前に >

### ⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。  
※ 施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。  
※ 建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。  
※ 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取り付けてください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認してから施工を行なってください。



### お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。  
排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## < 基礎工事について >

### ⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・建築基準法による設置の場合は、設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なるため、確認して施工してください。

### お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

## < 施工上のご注意 >

### ⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

※φ4ネジ : 2.0N・m±0.2N・m

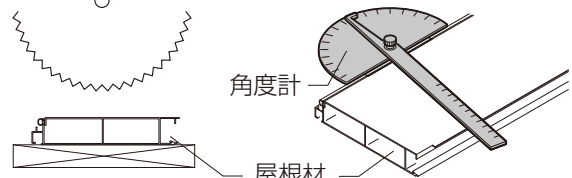
※φ5ネジ : 3.0N・m±0.2N・m

※M6ボルト : 7.5N・m±0.2N・m

※M8ボルト : 10.0N・m±0.2N・m

### お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ※作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
  - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・形材を切断する際は、形材の向きを考慮してください。
- ・形材を切断する際は、当て木(角材)を使用し、安定する状態で行なってください。
- ・角度計やノギスを使用する場合は、安定する場所にあてがいけがいてください。



## < 施工の後に >

### ⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

### お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

# INDEX

表示マーク	3	隅切り	23
梱包明細表	3	■ 各部の名称	23
■ 基本の確認事項	4	■ 施工制限(共通)	24
■ 異形内容の確認	4	■ 2 加工角度確認	25
■ 施工の流れ	4	■ 3 部材の加工(前枠側切詰め)	26
■ 施工制限(共通)	5	□ 全体配置確認	26
■ 1 基礎位置の墨出し	6	□ 屋根材の加工	26
■ 施工するカーポートの確認	6	□ 前枠・前枠カバーの加工	29
■ 基礎位置の確認(正面台形の場合)	7	■ 4 側枠の加工(前枠側切詰め)	30
■ 基礎位置の確認(隅切りの場合)	8	■ 3 部材の加工(後枠側切詰め)	32
■ 正面台形	9	□ 全体配置確認	32
■ 各部の名称	9	□ 屋根材の加工	32
■ 施工制限(共通)	10	□ 後枠の加工	35
■ 2 加工角度確認	11	■ 4 側枠の加工(後枠側切詰め)	36
■ 3 部材の加工(前枠側切詰め)	12	■ 側枠の取付けとシーリング	38
□ 全体配置確認	12	■ 5 側枠の取付けとシーリング	38
□ 屋根材の加工	13		
□ 前枠・前枠カバーの加工	14	■ 付録	40
■ 4 側枠の加工(前枠側切詰め)	15	■ $\theta$ が整数でなくても加工が可能な場合	
■ 3 部材の加工(後枠側切詰め)	17	(正面台形)	40
□ 全体配置確認	17	■ $\theta$ が整数でなくても加工が可能な場合	
□ 屋根材の加工	18	(隅切り)	42
□ 前枠の加工	19		
□ 後枠の加工	20		
■ 4 側枠の加工(後枠側切詰め)	21		

## 表示マーク

				 「SC ワイド 基本・縦連棟 取付説明書(D649)」

## 梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

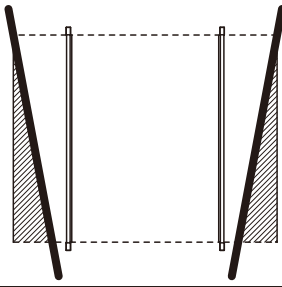
【1】異形用側枠セット		
名称	略図	員数
異形用側枠		1

【2】異形対応部品セット		
名称	略図	員数
後枠固定金具		1
パッキン		2
取付説明書		1
【2-1】φ4×13ナベドリルネジ 止水ワッシャー付		5

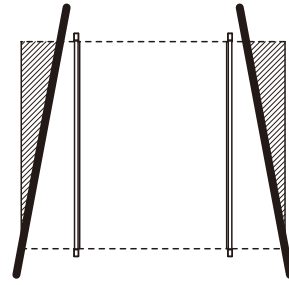
# 基本の確認事項

## ■ 異形内容の確認

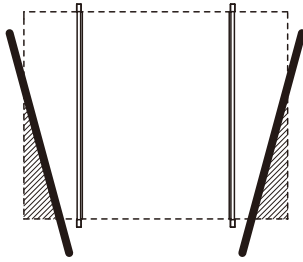
施工状況により加工内容が変わります。



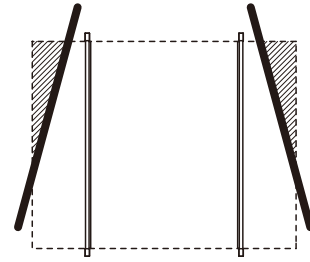
正面台形(前枠側切詰め)



正面台形(後枠側切詰め)

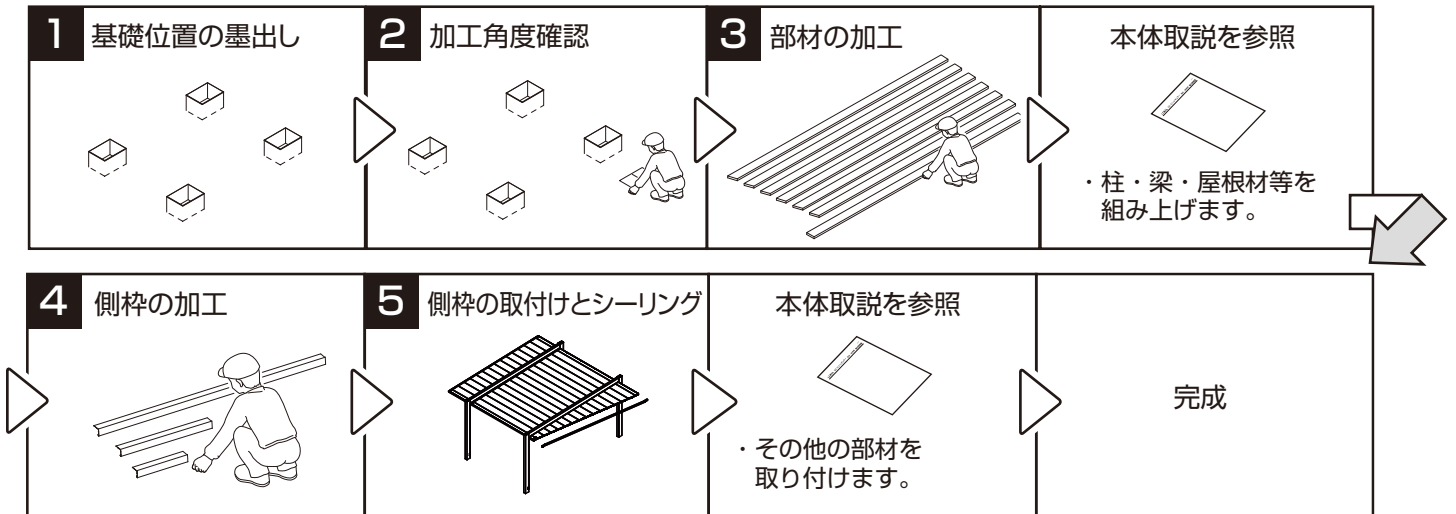


隅切り加工(前枠側切詰め)



隅切り加工(後枠側切詰め)

## ■ 施工の流れ



### お願い

・加工説明は、下記ページを参照してください。

#### 正面台形



P.9~P.11 共通項目 については、  
P.9~P.11を確認してください。



P.12~P.16 前枠側切詰め については、  
P.12~P.16を確認してください。



P.17~P.22 後枠側切詰め については、  
P.17~P.22を確認してください。

#### 隅切り加工



P.23~P.25 共通項目 については、  
P.23~P.25を確認してください。



P.26~P.31 前枠側切詰め については、  
P.26~P.31を確認してください。



P.32~P.37 後枠側切詰め については、  
P.32~P.37を確認してください。

#### 側枠の取付け



P.38~P.39 切詰め完了後は側枠の取付け  
を行ないます。  
P.38~P.39を確認してください。

#### シーリング



P.38~P.39 側枠取付け後はシーリングを  
を行ないます。  
P.38~P.39を確認してください。

## ■ 施工制限(共通)

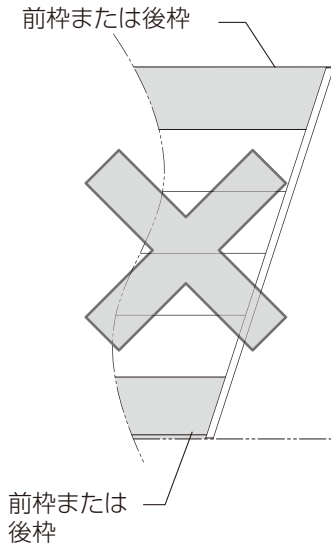


カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」を併せて参照してください。

### お願い

下記の内容を確認の上、必ずお守りください。  
P10（正面台形）、P24（隅切り）にも加工内容の制限が記載されています。

#### ●前枠・後枠の斜め加工



#### ●後枠・前枠の切詰め寸法Dの最大値を超えて加工はできません。

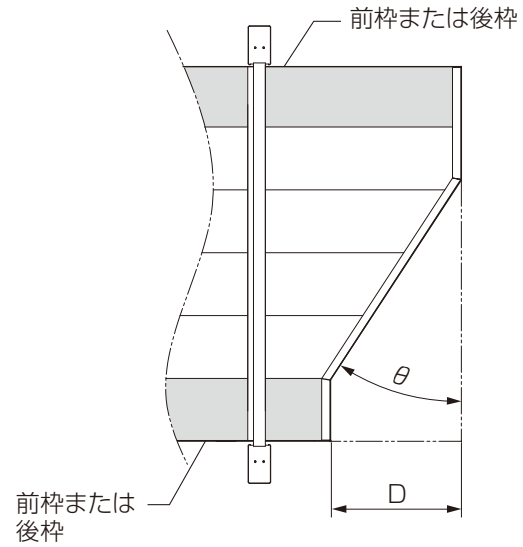


表1 D寸法最大値 正面台形の場合

	L50			L57		
	W48	W54	W60	W48	W54	W60
D	741.5	767.5	755.5	895.5	927.5	863.5

表2 D寸法最大値 隅切りの場合

	W48/54/60	
	L50	L57
D	785	935

※梁側面から屋根端面までの距離が200mm以下は不可となります。  
柱移動をした場合、上記寸法も変わります。

# 1 基礎位置の墨出し

## ■ 施工するカーポートの確認



カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」を併せて参照してください。



P.7,8 記入参考例 については、P.7,8を確認してください。

- ①表3を参照してL1、L3、WおよびW1を下図に記入してください。
- ②柱位置を墨出しして、下図に境界・障害物等を記入してください。
- ③境界・障害物等を避けるための屋根切詰め寸法L4、W4はP7,8を参照して設定してください。

※P11、25で実際に加工する寸法が決まります。加工前に確認してください。

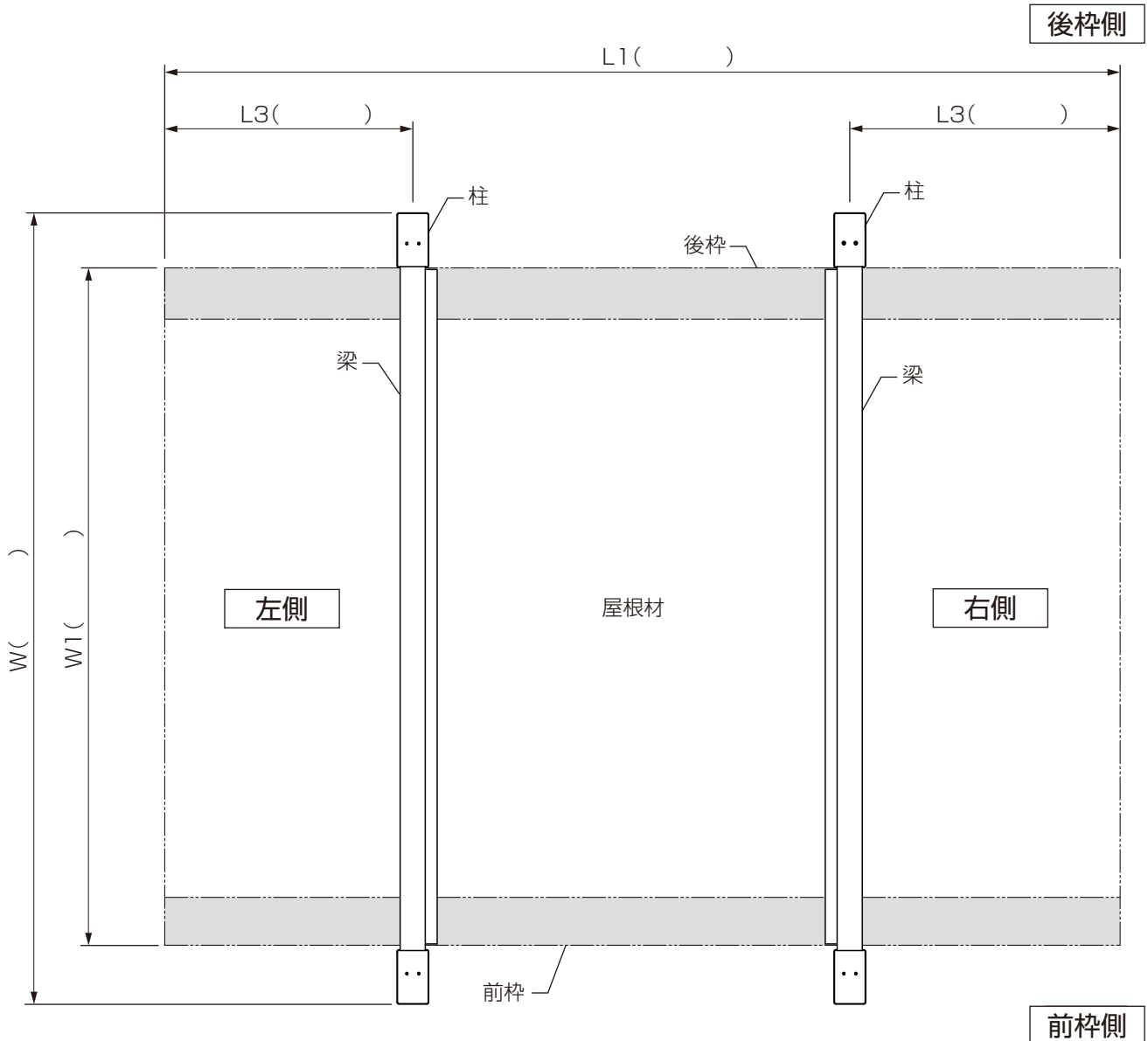


表3

	L1	L3	W	W1
W48 - L50	5000	1040	4808	4469
W54 - L50	5000	1040	5404	5065
W60 - L50	5000	1040	5999	5660
W48 - L57	5700	1190	4808	4469
W54 - L57	5700	1190	5404	5065
W60 - L57	5700	1190	5999	5660

## ■ 基礎位置の確認(正面台形の場合)

敷地に納まるよう切詰め寸法を決めてください。  
 ※ L4には制限があります。表4を参照してください。



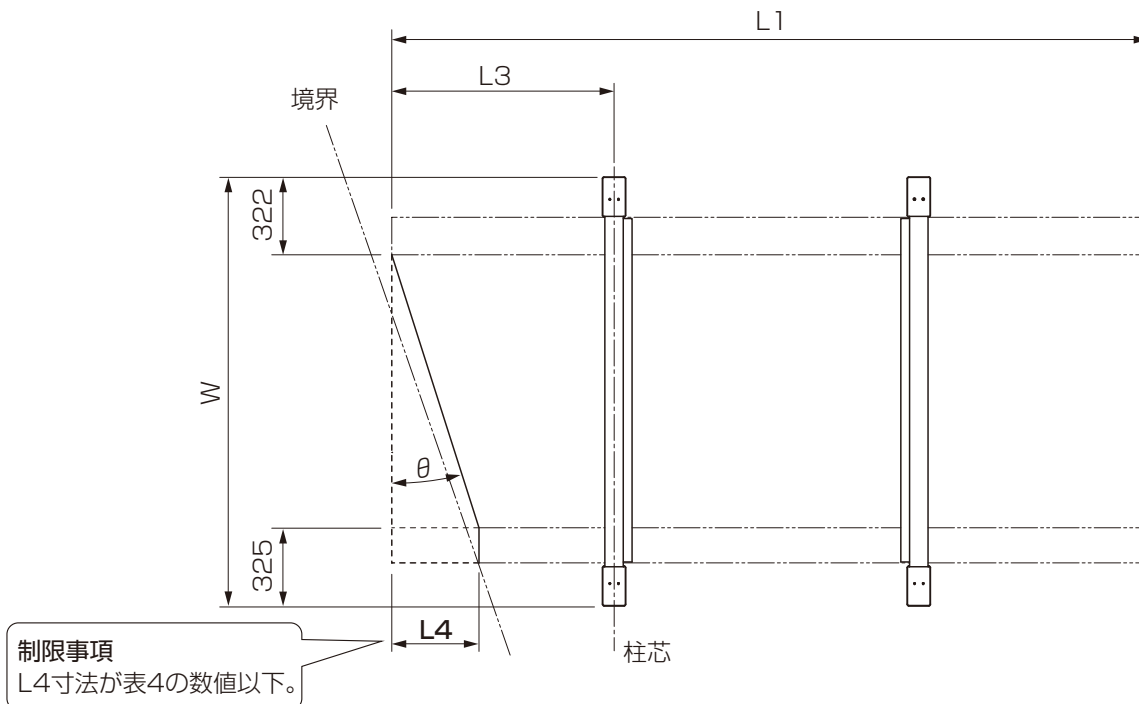
カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」を併せて参照してください。

表4 L4寸法最大値 正面台形の場合

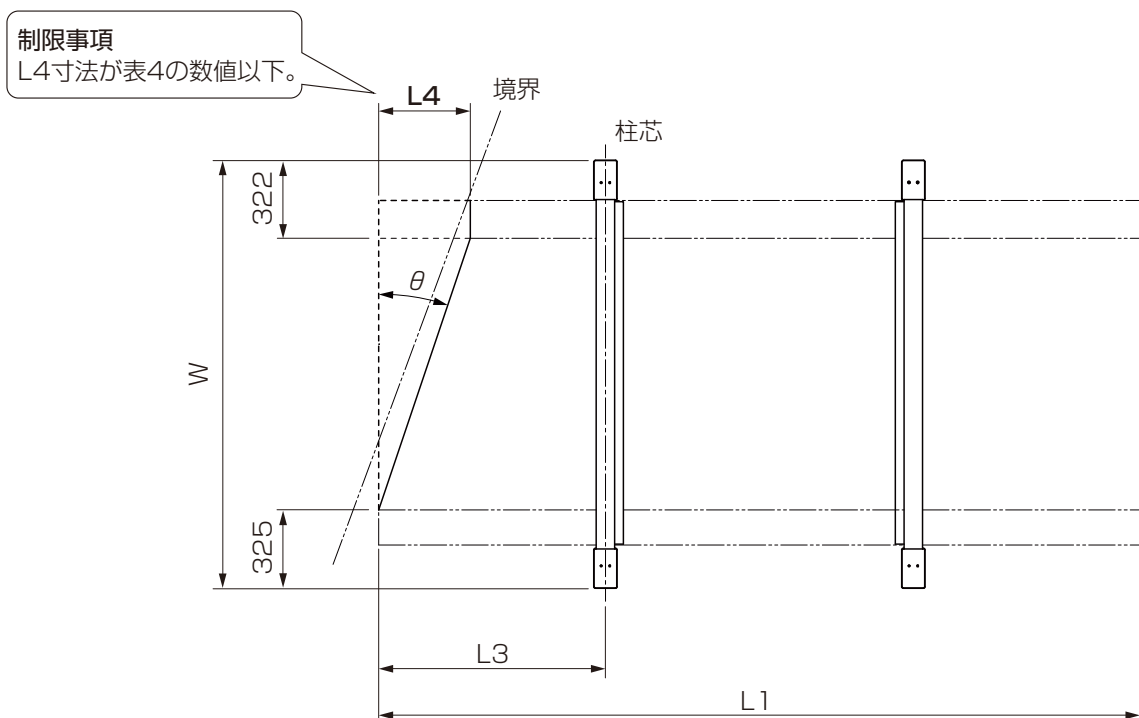
	L50			L57		
	W48	W54	W60	W48	W54	W60
L4	741.5	767.5	755.5	895.5	927.5	863.5

- ・前枠・後枠は切詰め寸法L4の最大値を超えて加工はできません。
- ・柱移動をした場合、移動した長さを差し引きした寸法になります。

### 『正面台形 - 前枠側切詰め』にする場合



### 『正面台形 - 後枠側切詰め』にする場合



## ■ 基礎位置の確認(隅切りの場合)

敷地に納まるよう切詰め寸法を決めてください。  
 ※ L4には制限があります。表5を参照してください。



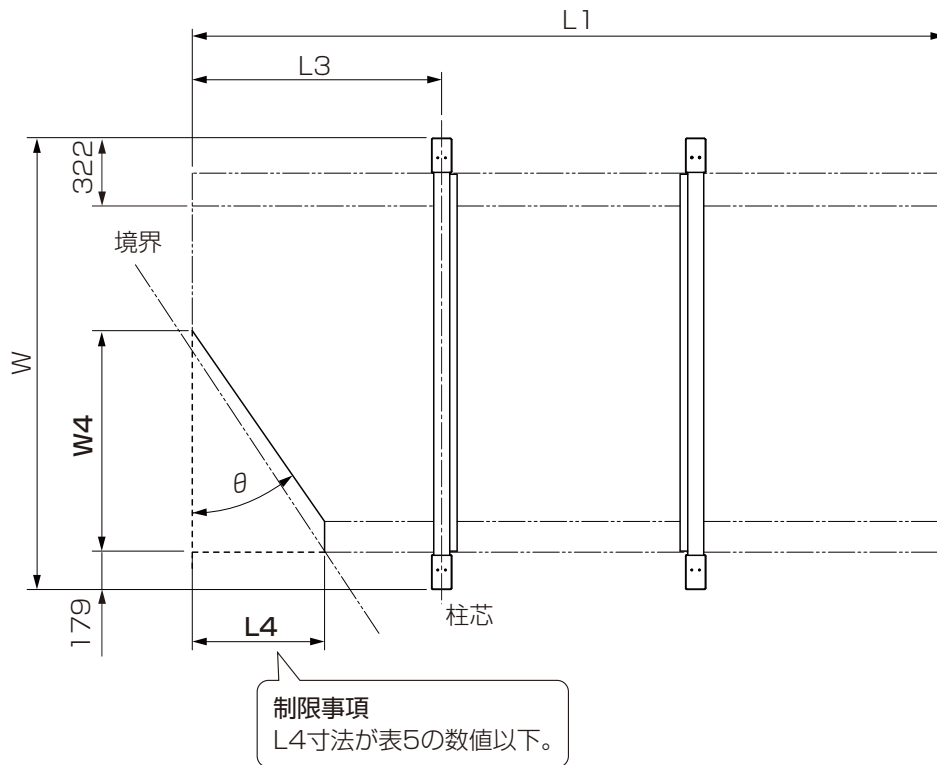
カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」を併せて参照してください。

表5 L4寸法最大値 隅切りの場合

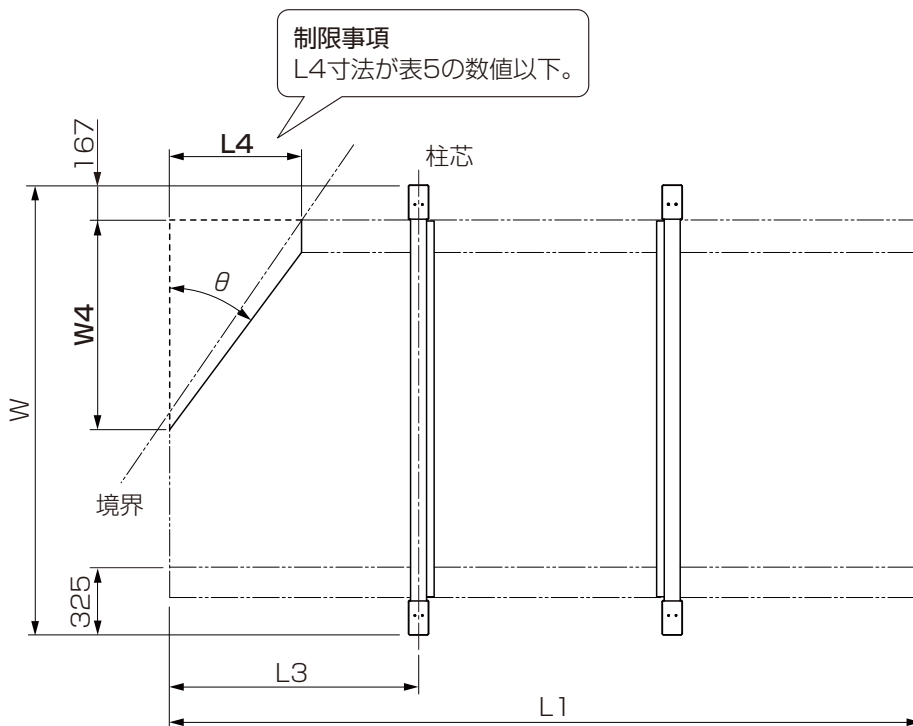
	W48/54/60	
	L50	L57
L4	785	935

- ・ 前枠・後枠は切詰め寸法L4の最大値を超えて加工はできません。
- ・ 柱移動をした場合、移動した長さを差し引きした寸法になります。

### 『隅切り加工 - 前枠側切詰め』にする場合



### 『隅切り加工 - 後枠側切詰め』にする場合



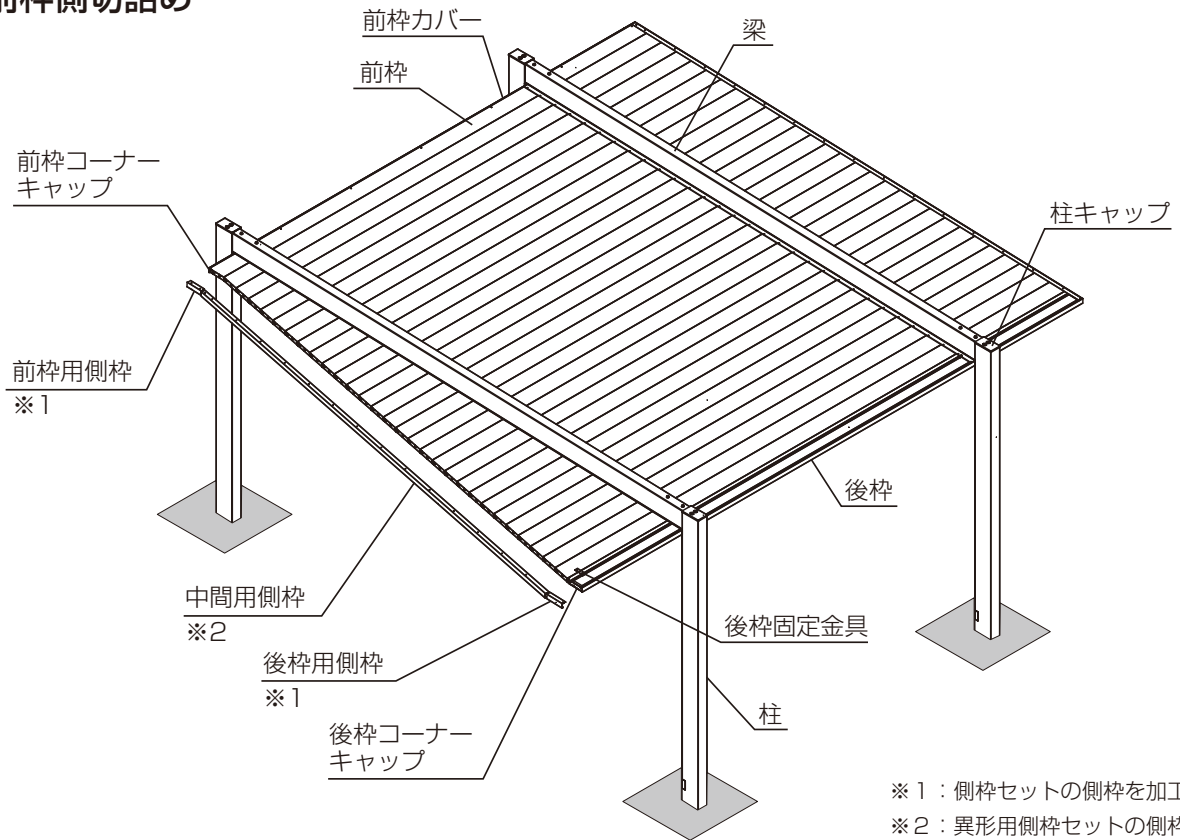


# 正面台形

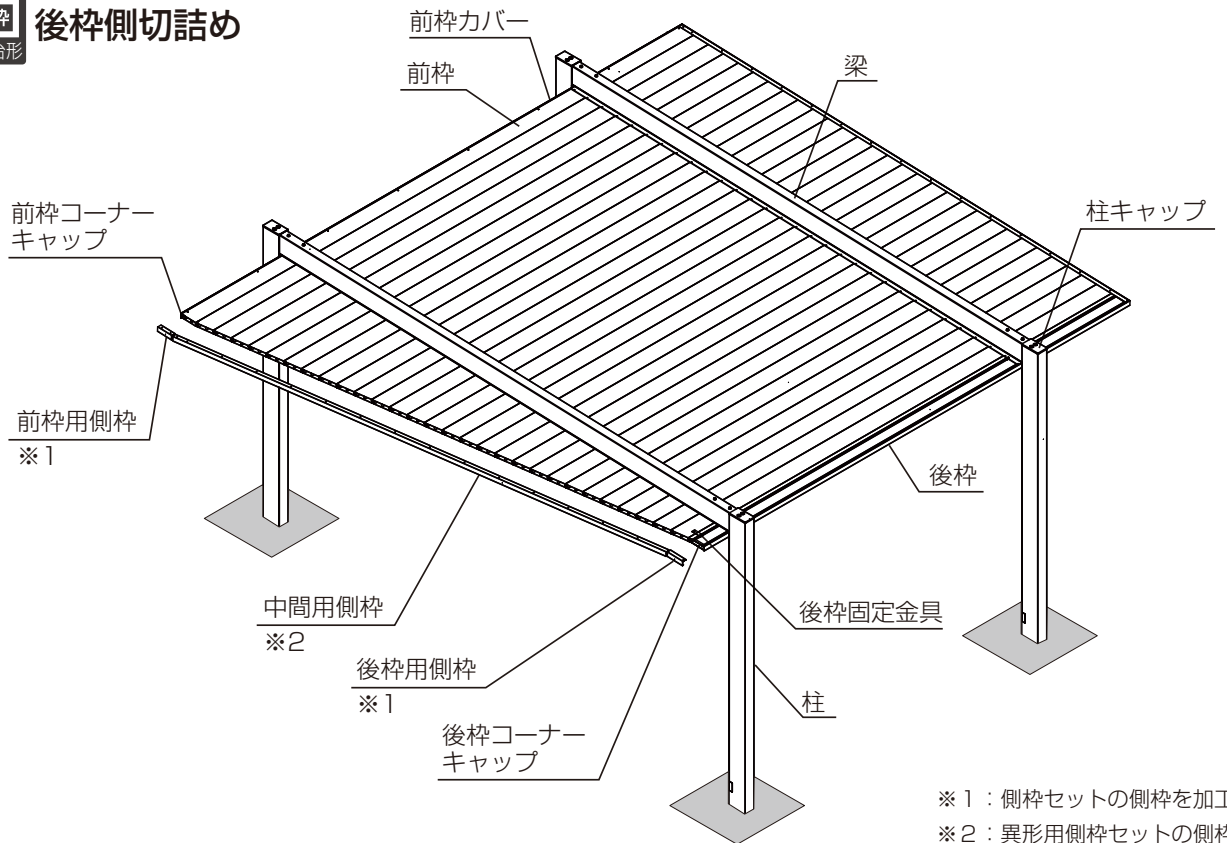
## 各部の名称



### 前枠側切詰め



### 後枠側切詰め



## ■ 施工制限(共通)



カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟 (D649)」を併せて参照してください。

### お願い

正面台形は、前枠または後枠を切詰めて屋根材を斜めにすべて加工します。  
下記の施工制限内容をお守りください。

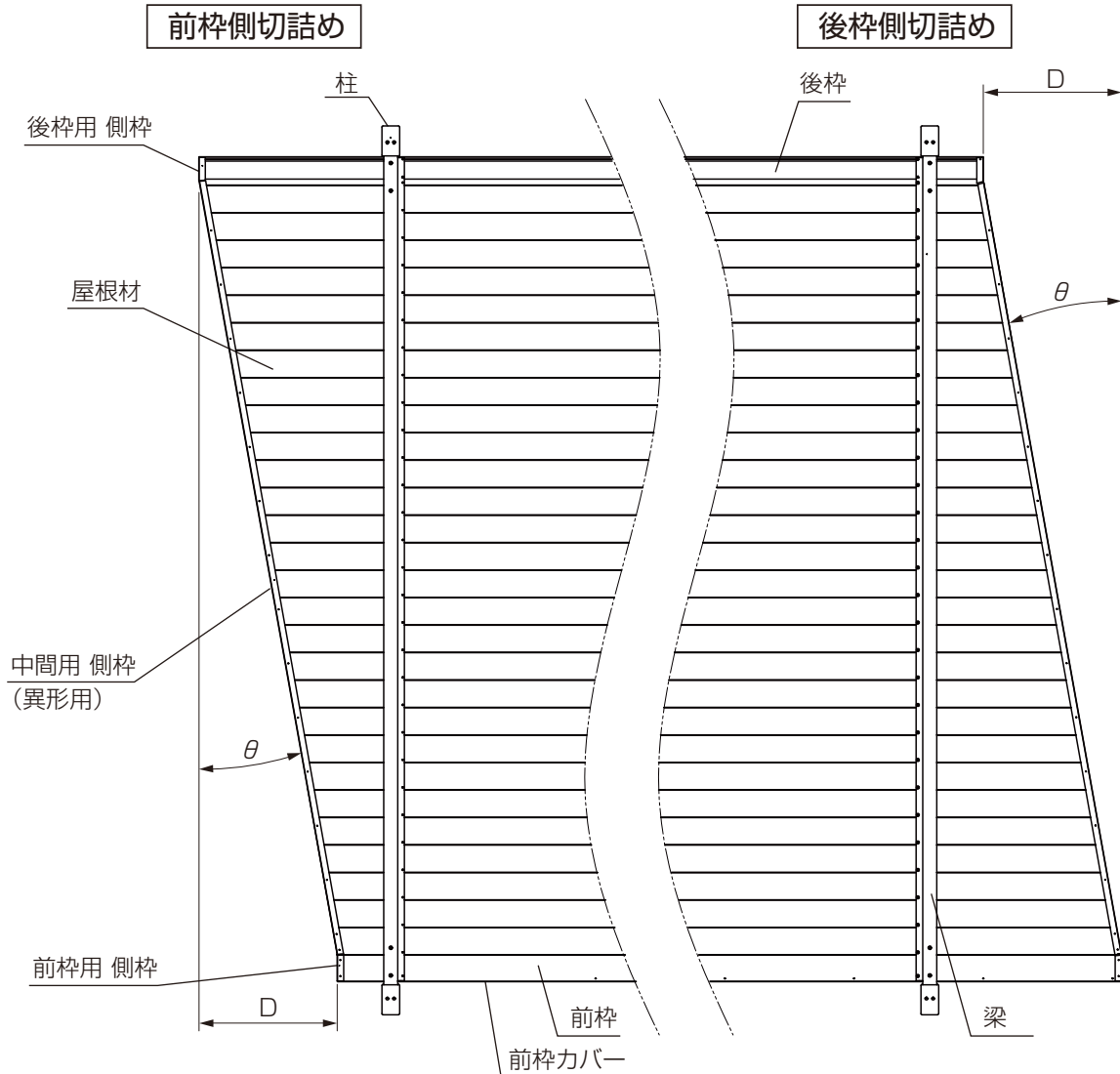


表6 切詰め寸法Dの最大値

	L50			L57		
	W48	W54	W60	W48	W54	W60
D	741.5	767.5	755.5	895.5	927.5	863.5

※前枠・後枠は切詰め寸法Dの最大値を超えて加工できません。  
柱移動をした場合、移動した長さを差し引きした寸法になります。

表7 加工角度θの最大値

	L50			L57		
	W48	W54	W60	W48	W54	W60
角度θ	10°	9°	8°	12°	11°	9°

※加工角度θの最大値を超えて加工はできません。

## 2 加工角度確認

設定した切詰め寸法L4から、実際に切詰める寸法Dと加工角度 $\theta$ を求めます。

- ①P.6、7で設定した切詰め寸法L4を記入してください。
- ②設定した寸法L4に最も近い値の中で大きいほうの値を表8に当てはめ、実際に切詰める寸法Dを求めてください。
- ③実際に切詰める寸法Dで加工するための加工角度 $\theta$ を表8から求め、記入してください。



表8 加工角度表

D						角度 $\theta$
L50			L57			
W48	W54	W60	W48	W54	W60	$\theta$
70.0	80.0	90.0	70.0	80.0	90.0	1
140.0	160.0	180.0	140.0	160.0	180.0	2
210.0	240.0	270.0	210.0	240.0	270.0	3
294.0	336.0	378.0	294.0	336.0	378.0	4
364.0	416.0	468.0	364.0	416.0	468.0	5
434.0	496.0	558.0	434.0	496.0	558.0	6
504.0	576.0	648.0	504.0	576.0	648.0	7
587.5	671.5	755.5	587.5	671.5	755.5	8
671.5	767.5	—	671.5	767.5	863.5	9
741.5	—	—	741.5	847.5	—	10
—	—	—	811.5	927.5	—	11
—	—	—	895.5	—	—	12

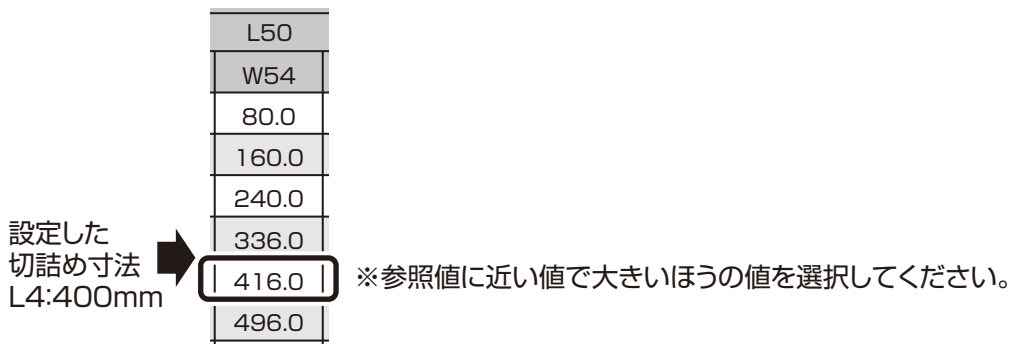
### 補 足



※加工角度 $\theta$ が整数でなくても加工が可能な場合はP40の方法でも加工ができます。

### 例

屋根サイズL50W54を400mm切詰めたい場合の加工角度 $\theta$ の求め方



294.0	336.0	378.0	294.0	336.0	378.0	4
364.0	416.0	468.0	364.0	416.0	468.0	5
434.0	496.0	558.0	434.0	496.0	558.0	6

実際に切詰める寸法D : 416mm  
 加工角度 $\theta$  : 5°

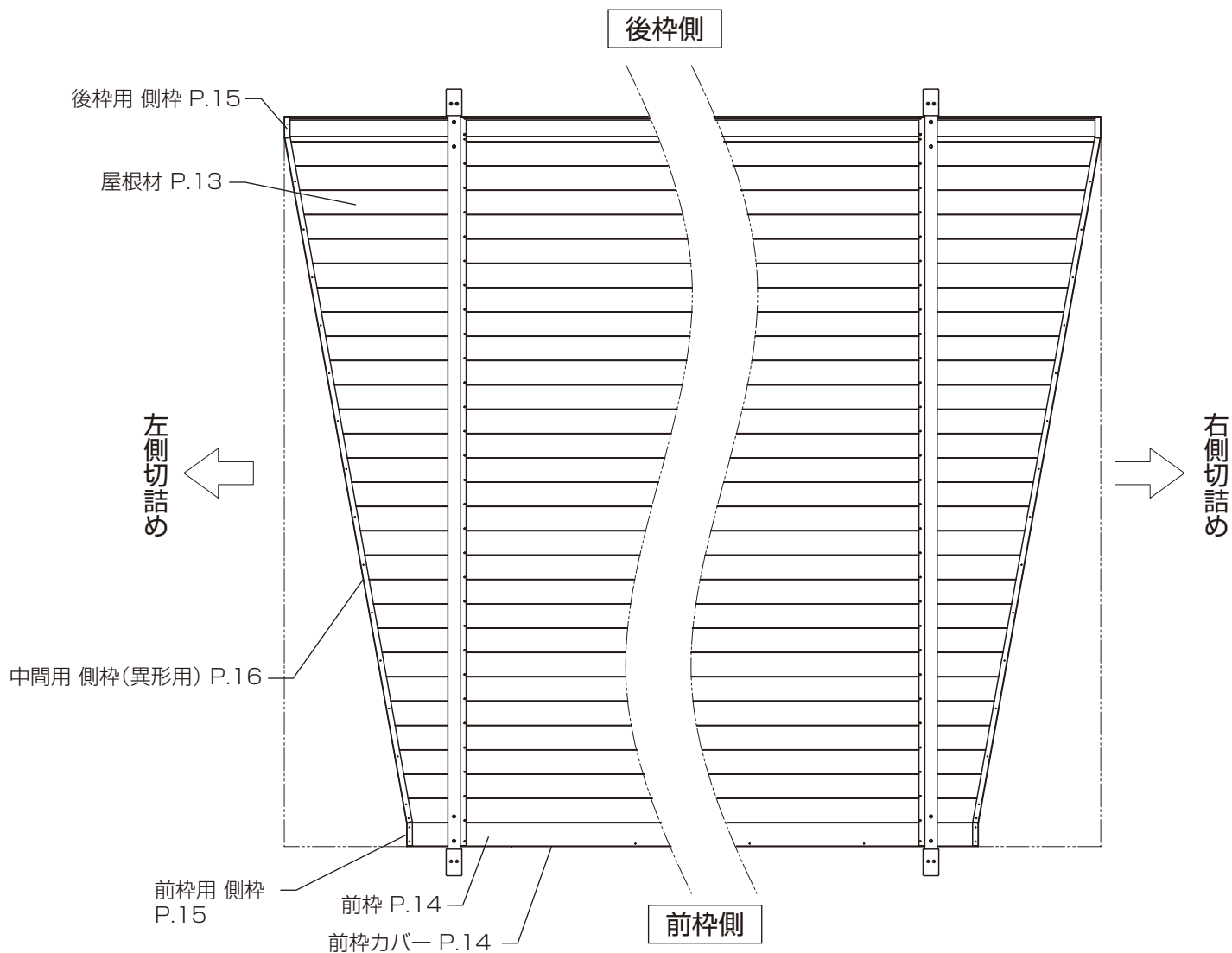
### 3 部材の加工（前枠側切詰め）

#### □ 全体配置確認

**前枠**  
前枠台形

【前枠正面台形】の場合の作業です。

カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟 (D649)」を併せて参照してください。



#### お願い

- ・前枠側切詰めに施工の場合は【屋根材】【前枠】【前枠カバー】【側枠】【側枠(異形用)】の加工が必要です。
- ・[左側切詰め][右側切詰め]があります。部材の配置と材形の切断する向きを確認し、加工してください。

# 屋根材の加工

## お願い

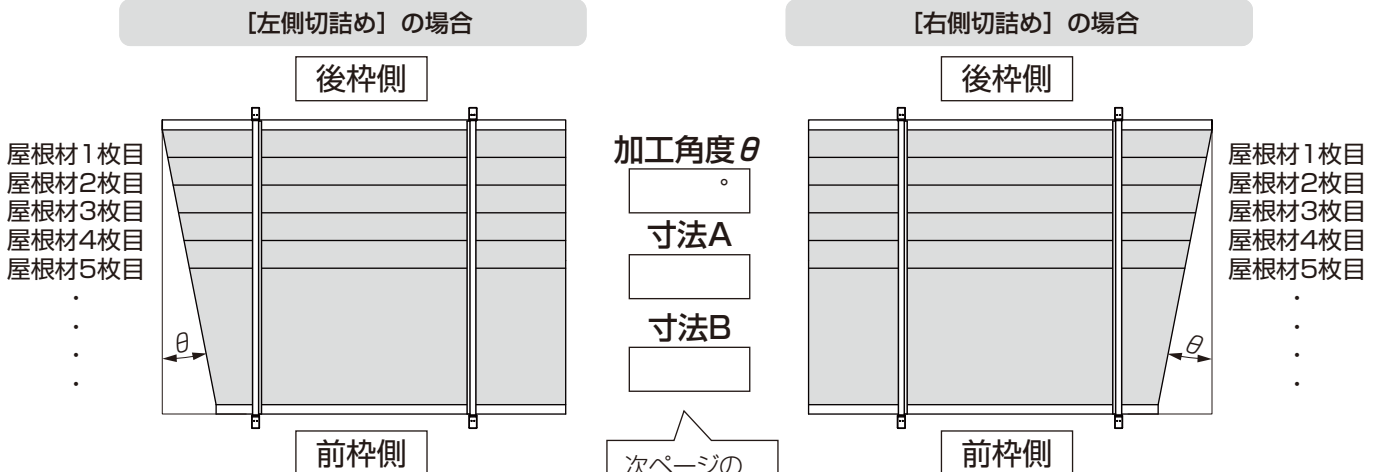
- ・前枠側切詰めの場合、後枠側の屋根材を1枚目として加工説明します。
- ・[左側切詰め][右側切詰め]があります。部材の配置と形材の切断する向きを確認し、加工してください。



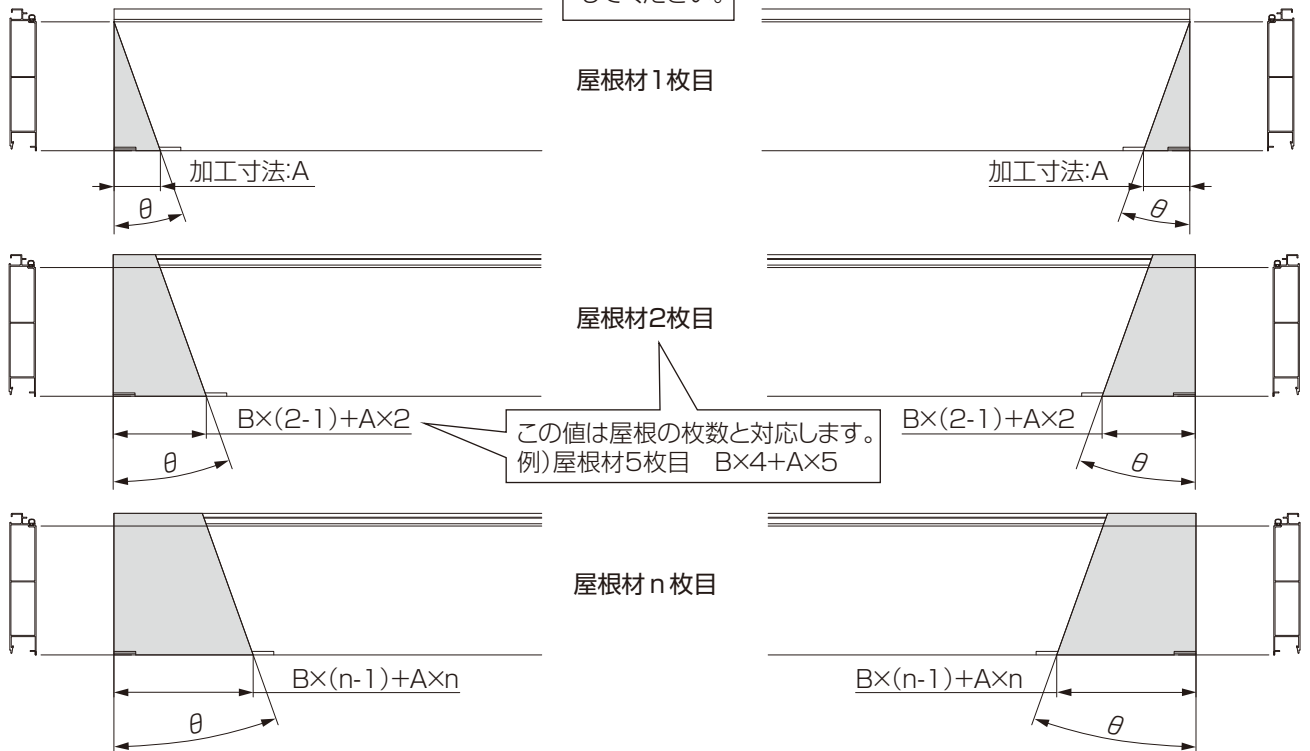
カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」を併せて参照してください。

## 屋根材の加工手順

(1) P.14の【表9 屋根材加工表】を参照し、P.11で求めた加工角度 $\theta$ に対応した「寸法A」「寸法B」を確認してください。



(2) 屋根材にケガキを入れてください。



(3) 屋根材を斜めに切断加工してください。

(4) 斜め加工した屋根材フィン部の切欠き加工をしてください。

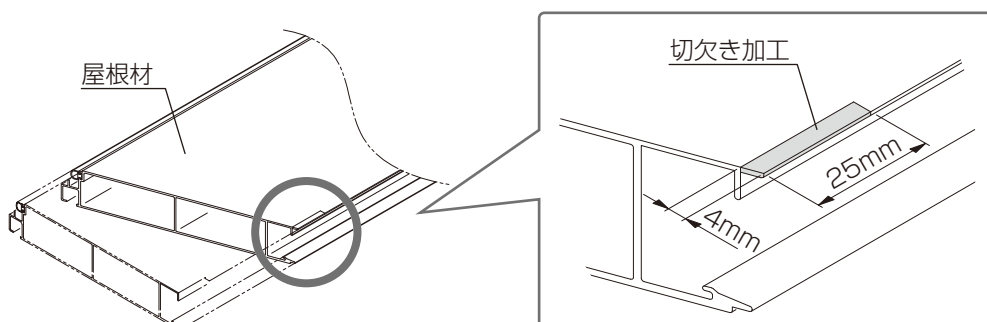
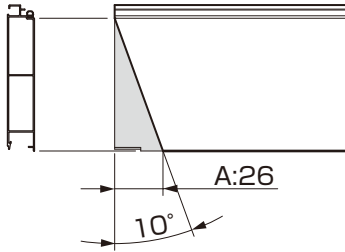


表9 屋根材加工表

加工角度	1°	2°	3°	4°	5°	6°	7°	8°	9°	10°	11°	12°
寸法A	2.5	5	7.5	10.5	13	15.5	18	20.5	23.5	26	28.5	31.5
寸法B	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5

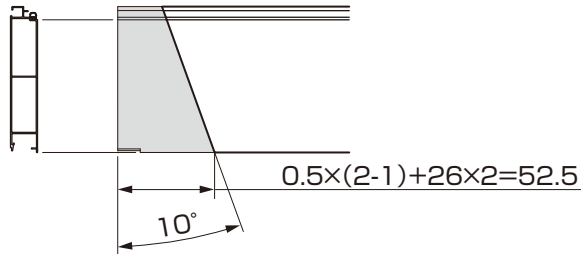
**例** 加工角度10°で正面台形の屋根材を加工する場合(左側切詰め)

屋根材1枚目

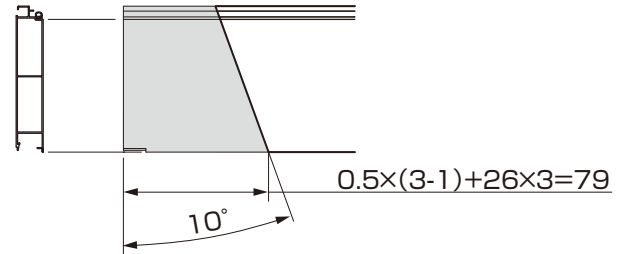


加工角度	10°
寸法A	26
寸法B	0.5

屋根材2枚目



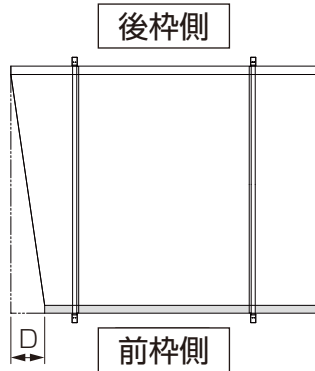
屋根材3枚目



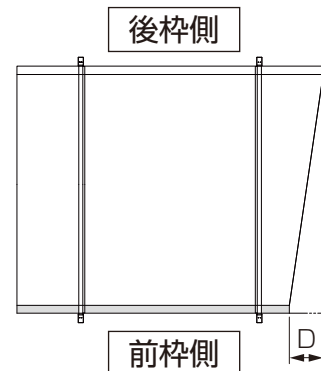
**前枠・前枠カバーの加工**

①P.11で確認した切詰め寸法Dで、前枠・前枠カバーを切断し、穴加工をしてください。

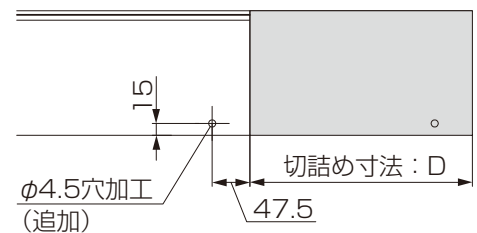
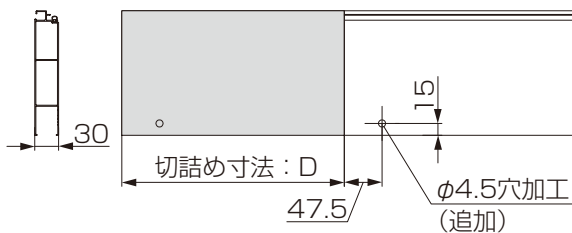
【左側切詰め】の場合



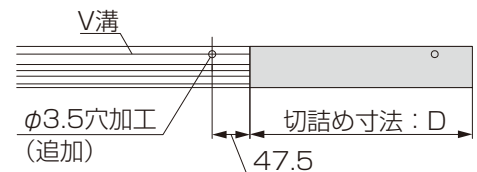
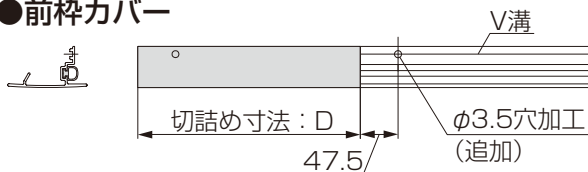
【右側切詰め】の場合



●前枠



●前枠カバー



## 4 側枠の加工（前枠側切詰め）



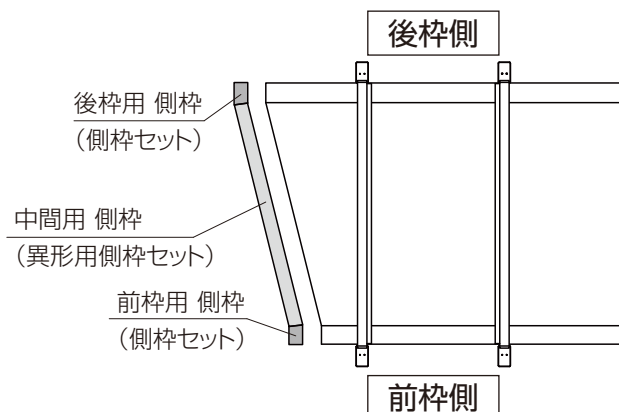
前枠  
前枠台形

【前枠正面台形】の  
場合の作業です。

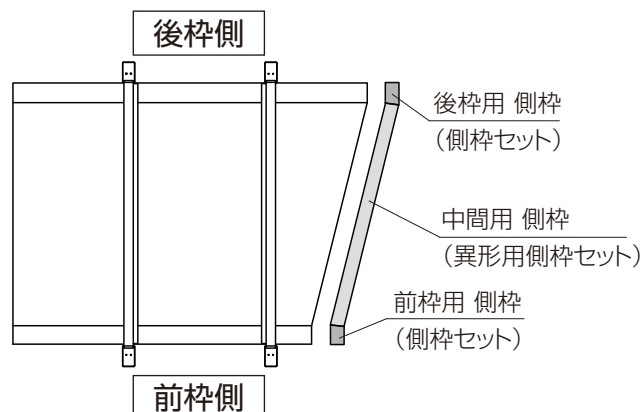


カーポート本体の寸法や施工方法に関しては  
「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」  
を併せて参照してください。

【左側切詰め】の場合

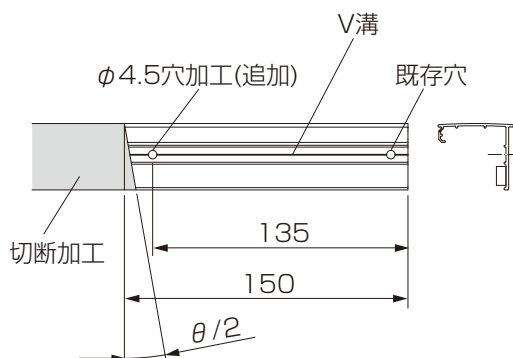
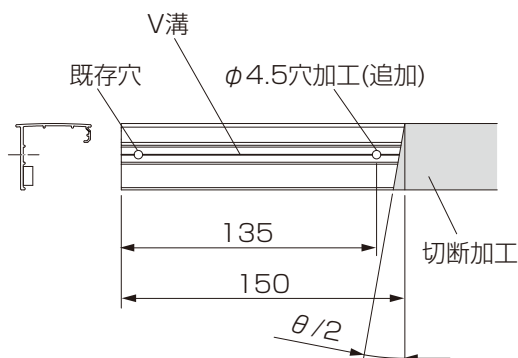


【右側切詰め】の場合



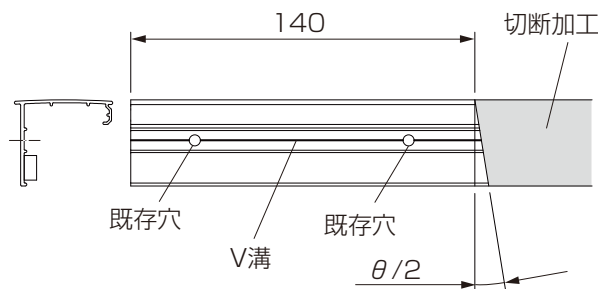
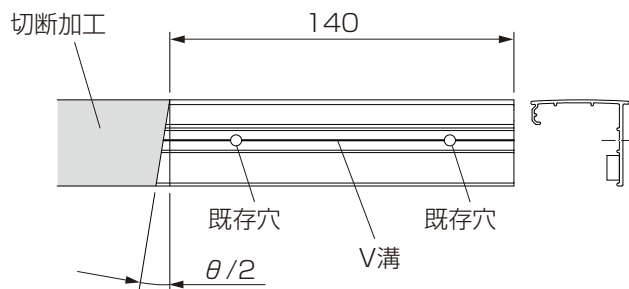
### ●後枠用 側枠の加工

- ①側枠セットの側枠(後枠側)を、側面部150mmと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。
- ②図を参照し、端部から135mmの位置に $\phi 4.5$ 穴加工をしてください。



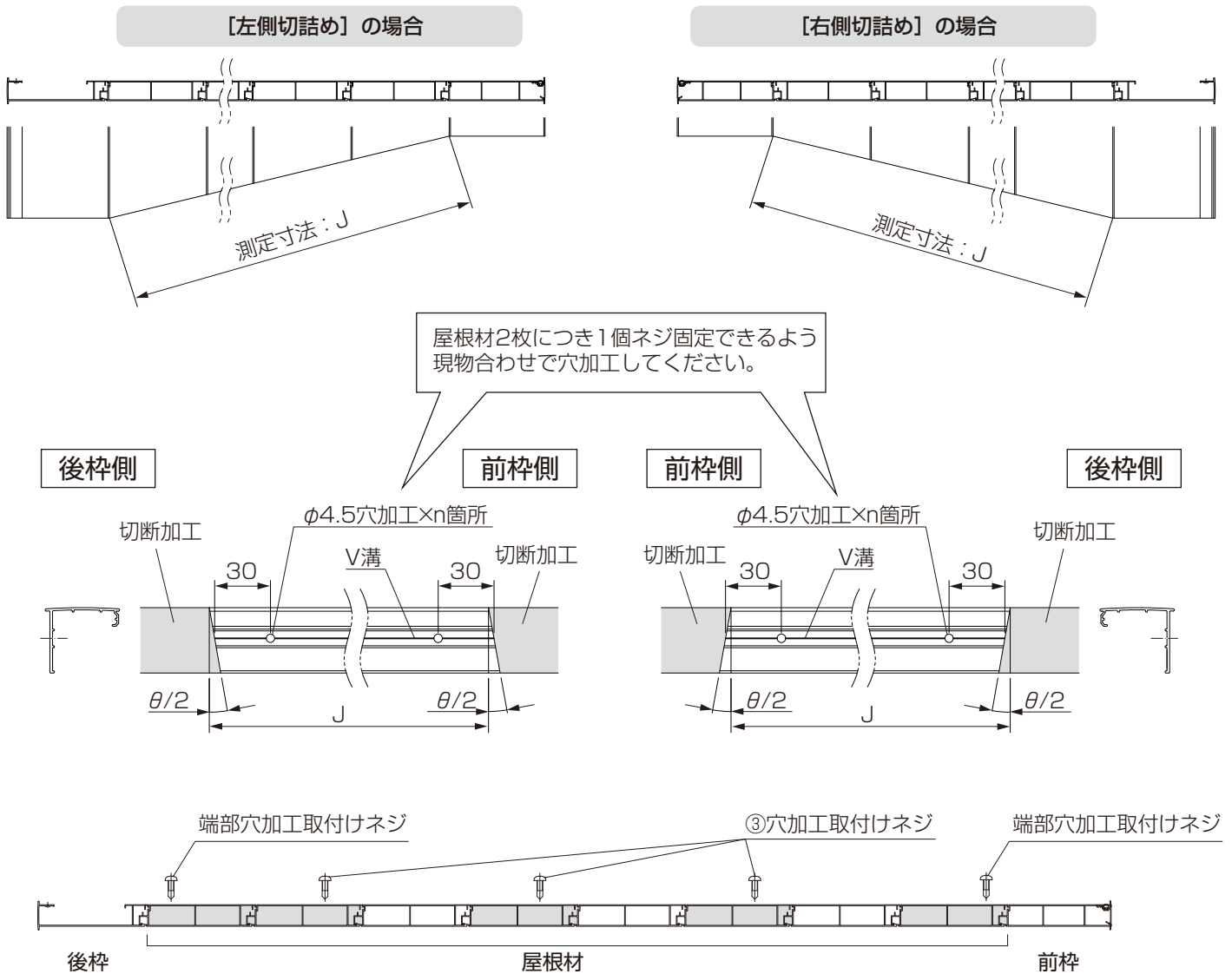
### ●前枠用 側枠の加工

- ①側枠セットの側枠(前枠側)を側面部140mmと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。



## ●中間用 側枠の加工

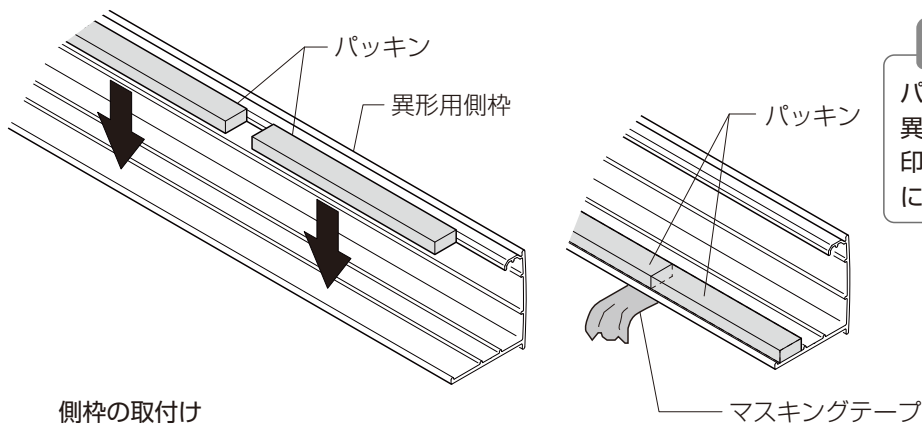
- ①図を参照して組み立てた屋根の「測定寸法:J」を確認してください。
- ②異形用側枠セットの側枠を、寸法Jと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。
- ③図を参照し、両端部から30mmの位置に $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。
- ④下記図を参照して屋根材2枚につき1個ネジ固定するピッチで $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。
- ⑤パッキンを異形用側枠に貼り付けてください。パッキンのつなぎ目に目印を付けてください。



屋根材2枚につき1個ネジ固定できるように  
現物合わせで穴加工してください。

### お願い

パッキンのつなぎ目がわかるように、  
異形用側枠の表面に、マスキングテープ等  
印をつけてください。異形用側枠取り付け後  
にパッキンのつなぎ目に、シーリングします。



### 側枠の取付け




P.38 切詰め完了後は側枠の取付け  
を行いません。  
P.38を確認してください。



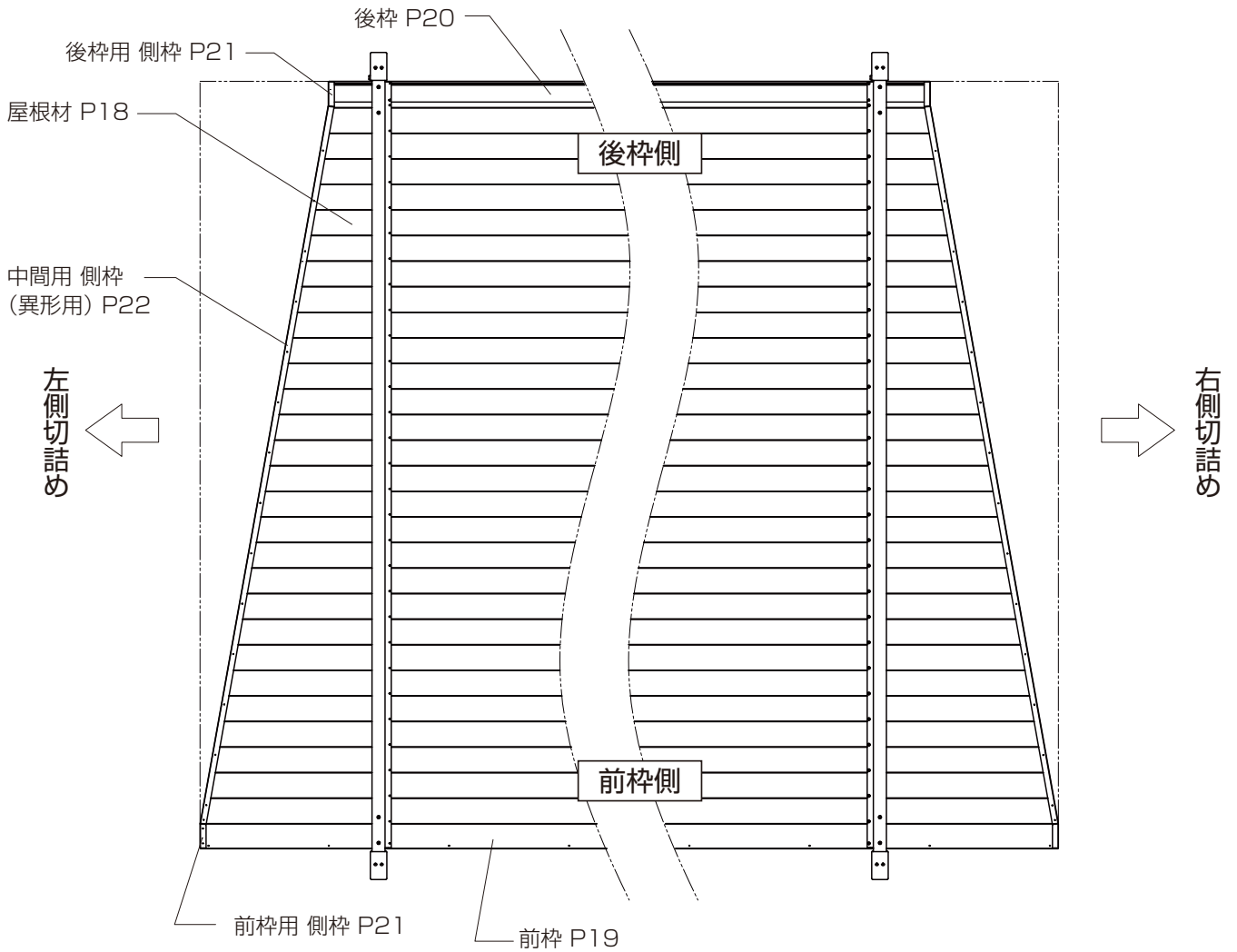
### 3 部材の加工（後枠側切詰め）

**後枠**  
後枠台形

【後枠正面台形】の  
場合の作業です。

 カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟 (D649)」を併せて参照してください。

#### 全体配置確認



#### お願い

- ・後枠側切詰めに施工の場合は【屋根材】【前枠】【後枠】【側枠】【側枠(異形用)】の加工が必要です。
- ・[左側切詰め][右側切詰め]があります。部材の配置と型材の切断する向きを確認し、加工してください。

# 屋根材の加工

## お願い

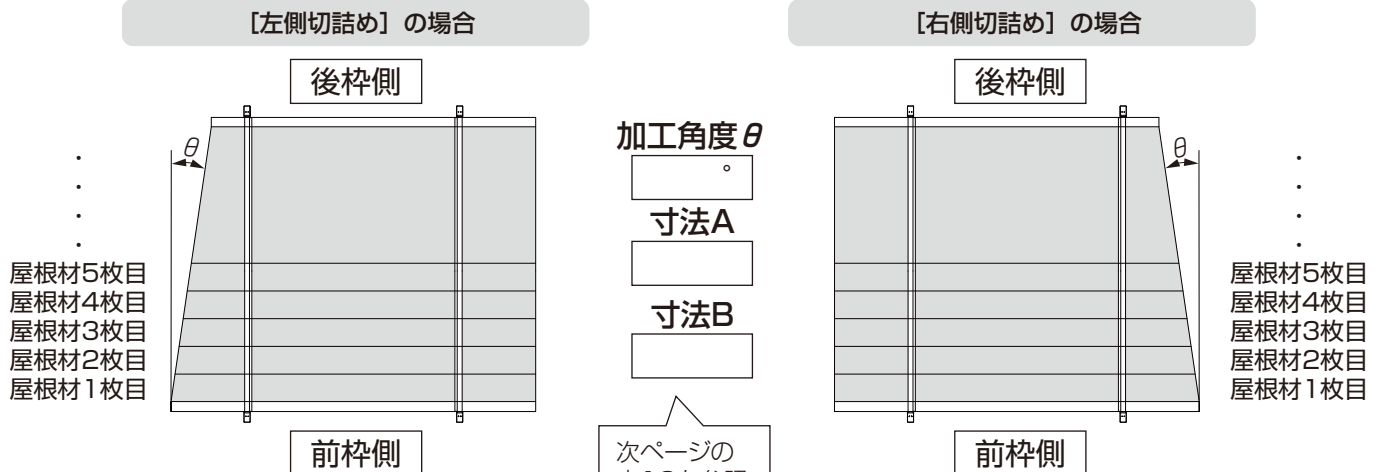
- ・後柵側切詰めの場合、前柵側の屋根材を1枚目として加工説明します。
- ・[左側切詰め][右側切詰め]があります。部材の配置と形材の切断をする向きを確認し、加工してください。



カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」を併せて参照してください。

## 屋根材の加工手順

(1) P.19の[表10 屋根材加工表]を参照し、P.11で求めた加工角度 $\theta$ に対応した「寸法A」「寸法B」を確認してください。



(2) 屋根材にケガキを入れてください。



(3) 屋根材を斜めに切断加工してください。

(4) 斜め加工した屋根材フィン部の切欠き加工をしてください。

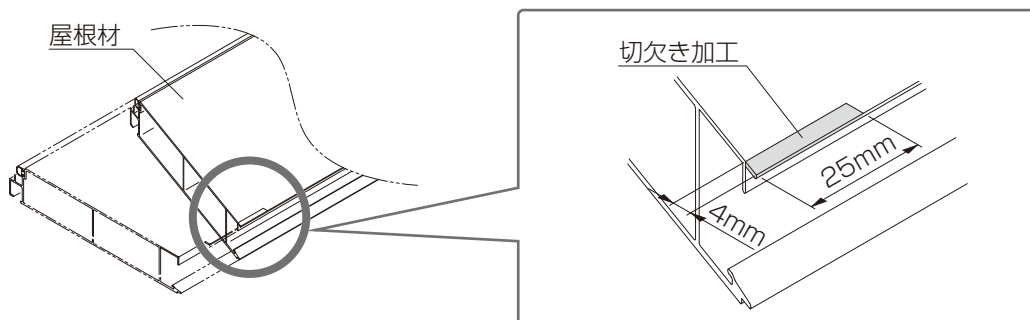


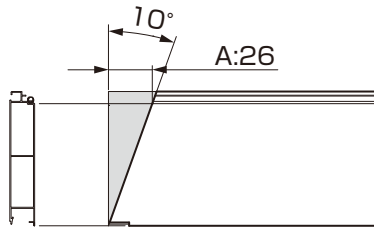
表10 屋根材加工表

加工角度	1°	2°	3°	4°	5°	6°	7°
寸法A	2.5	5	7.5	10.5	13	15.5	18
寸法B	0	0	0	0	0	0	0
加工角度	8°	9°	10°	11°	12°		
寸法A	20.5	23.5	26	28.5	31.5		
寸法B	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5		

**例**

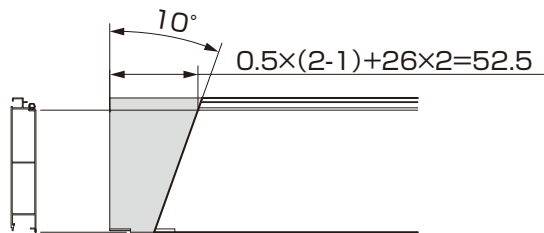
加工角度10°で正面台形の屋根材を加工する場合(左側切詰め)

屋根材1枚目

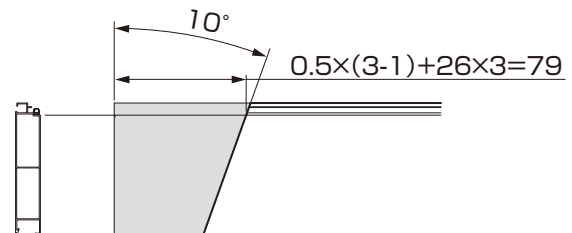


加工角度	10°
寸法A	26
寸法B	0.5

屋根材2枚目



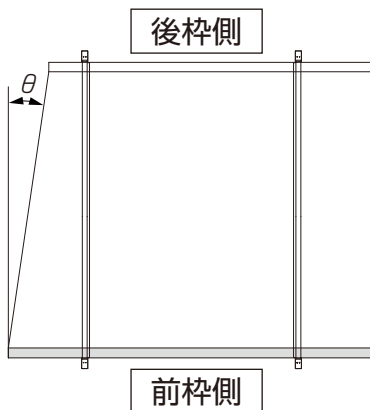
屋根材3枚目



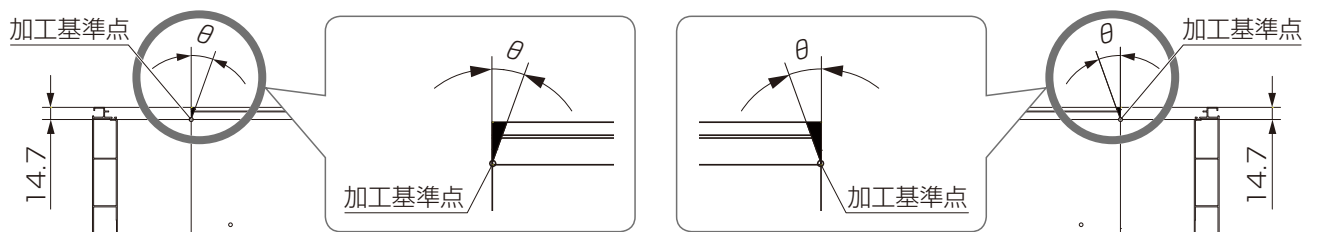
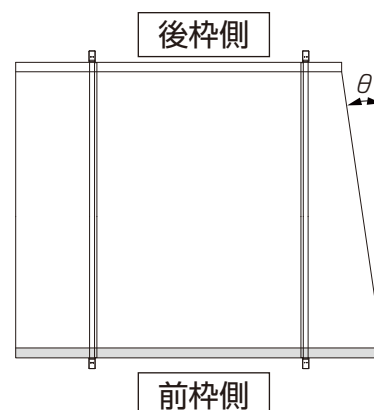
**前枠の加工**

(1) 前枠の端部は下図を参照して加工基準点からP.11で確認した【加工角度:θ】で斜めに切断加工してください。

【左側切詰め】の場合



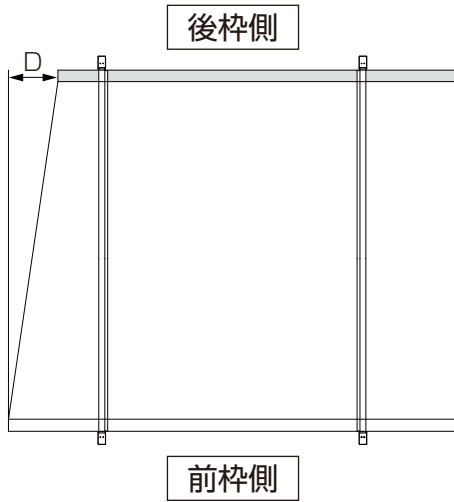
【右側切詰め】の場合



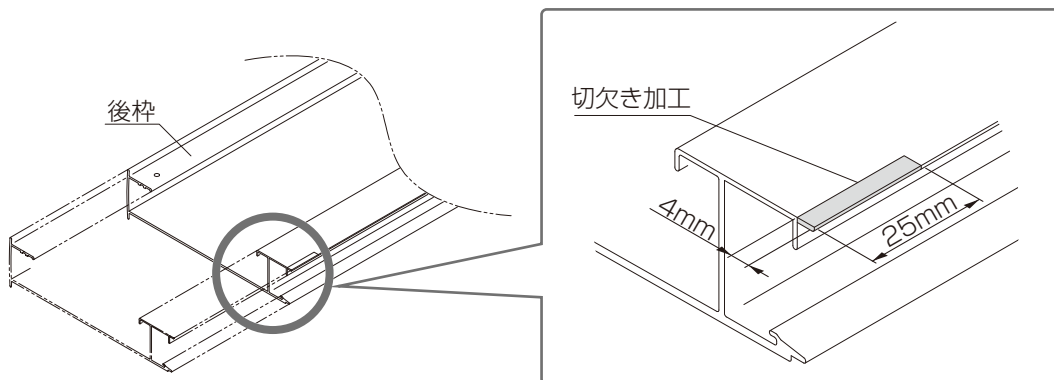
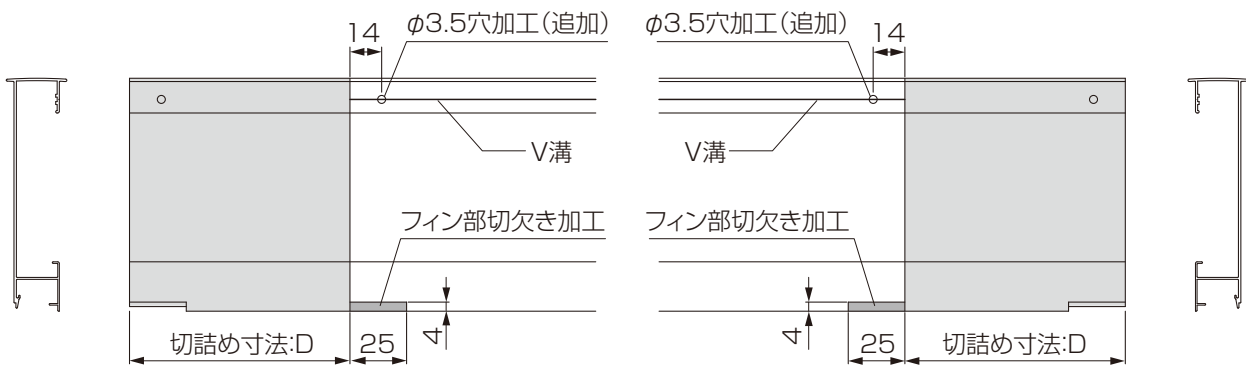
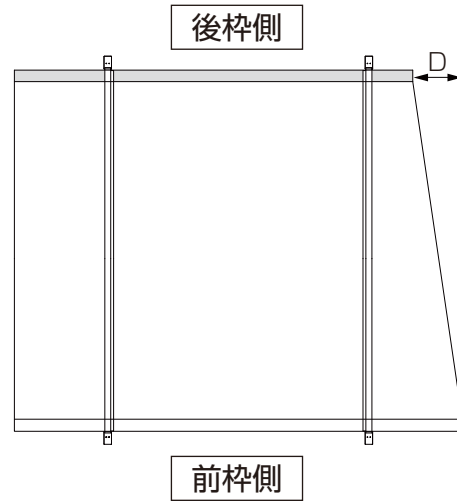
## □ 後枠の加工

- ①P.11で確認した切詰め寸法Dで後枠を切断し、穴加工を行なってください。
- ②フィン部の切欠き加工をしてください。

【左側切詰め】の場合



【右側切詰め】の場合



## 4 側枠の加工（後枠側切詰め）

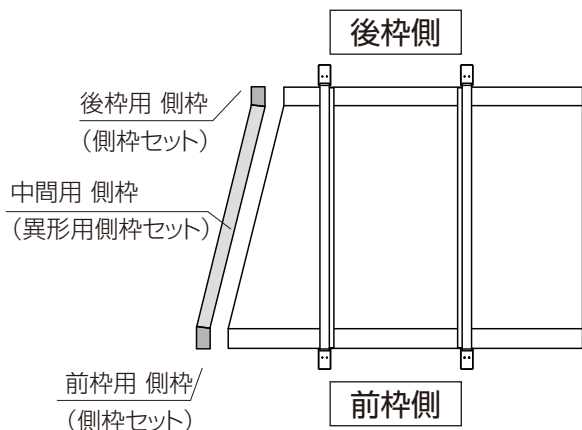


【後枠正面台形】の場合の作業です。

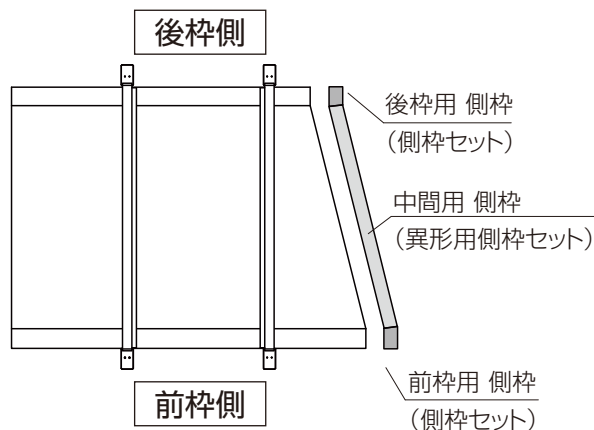


カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟 (D649)」を併せて参照してください。

【左側切詰め】の場合

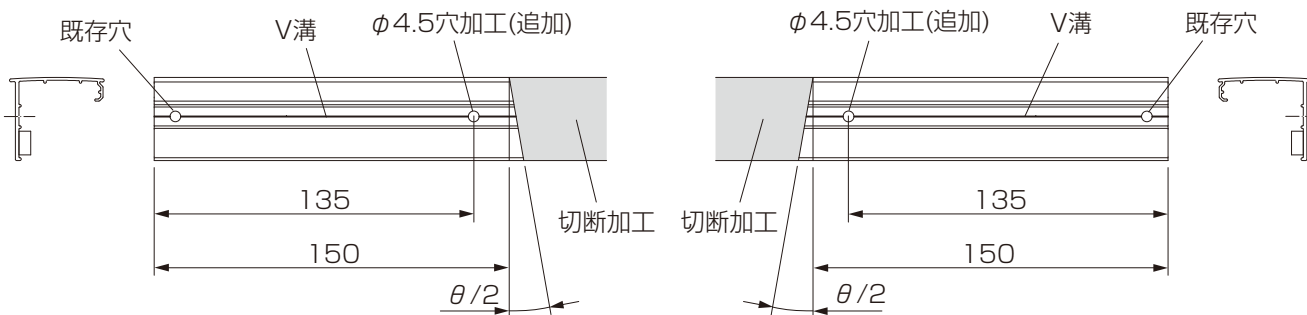


【右側切詰め】の場合



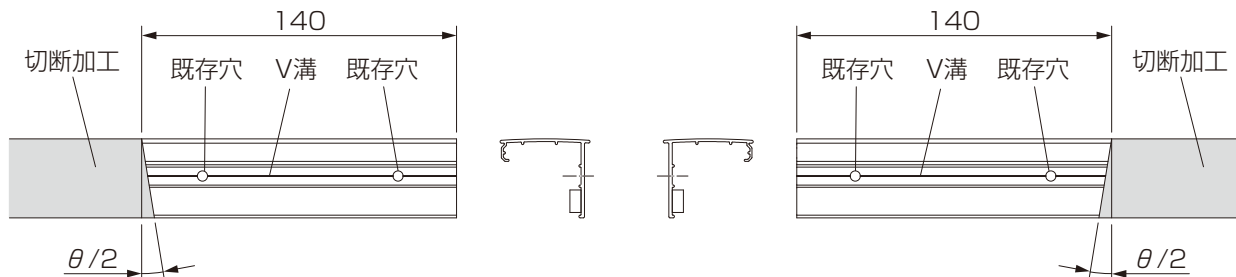
### ●後枠用 側枠の加工

- ①側枠セットの側枠(後枠側)を、側面部150mmと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。
- ②図を参照し端部から135mmの位置に $\phi 4.5$ 穴加工をしてください。



### ●前枠用 側枠の加工

- ①側枠セットの側枠(前枠側)を、側面部140mmと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。

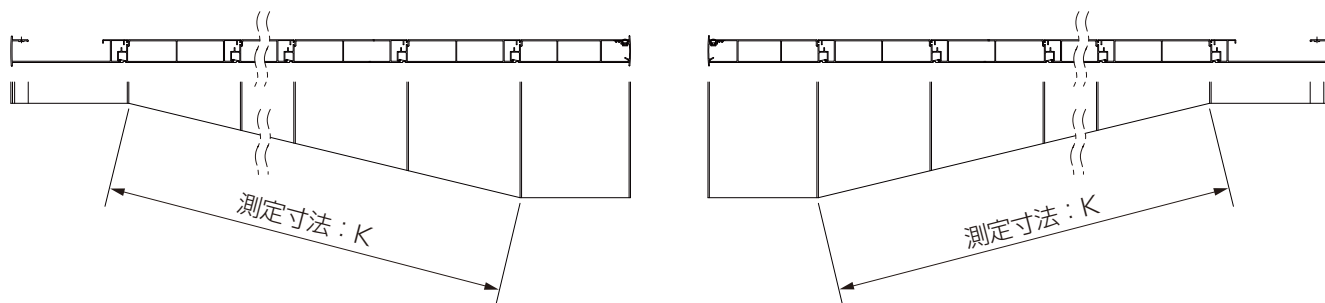


## ●中間用 側枠の加工

- ①図を参照して組み立てた屋根の「測定寸法：K」を確認してください。
- ②異形用側枠セットの側枠を、寸法Jと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。
- ③図を参照し、両端部から30mmの位置に $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。
- ④下記図を参照して屋根材2枚につき1個ネジ固定するピッチで $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。
- ⑤パッキンを異形用側枠に貼り付けてください。パッキンのつなぎ目に目印を付けてください。

【左側切詰め】の場合

【右側切詰め】の場合



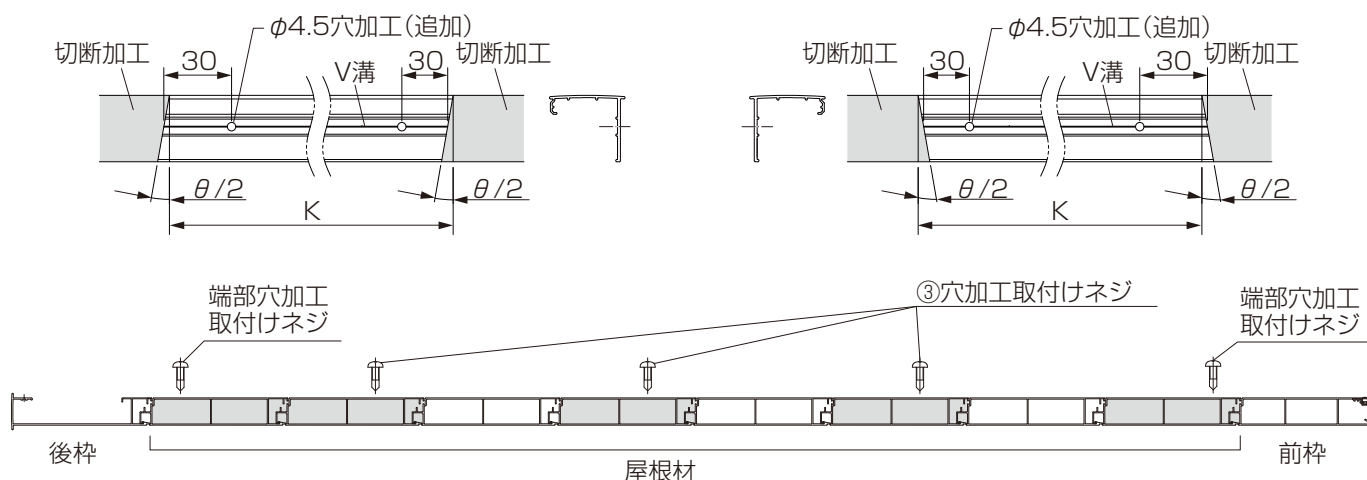
屋根材2枚につき1個ネジ固定できるように  
現物合わせで穴加工してください。

後枠側

前枠側

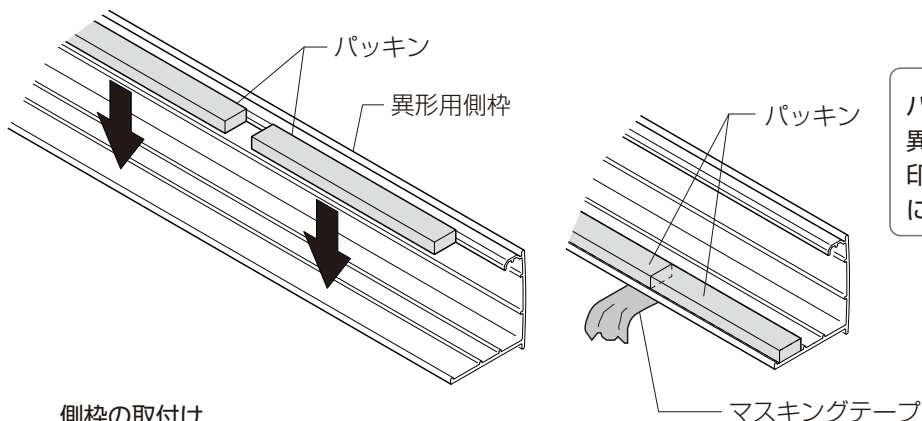
前枠側

後枠側



### お願い

パッキンのつなぎ目がわかるように、  
異形用側枠の表面に、マスキングテープ等  
印をつけてください。異形用側枠取り付け後  
にパッキンのつなぎ目に、シーリングします。



側枠の取付け



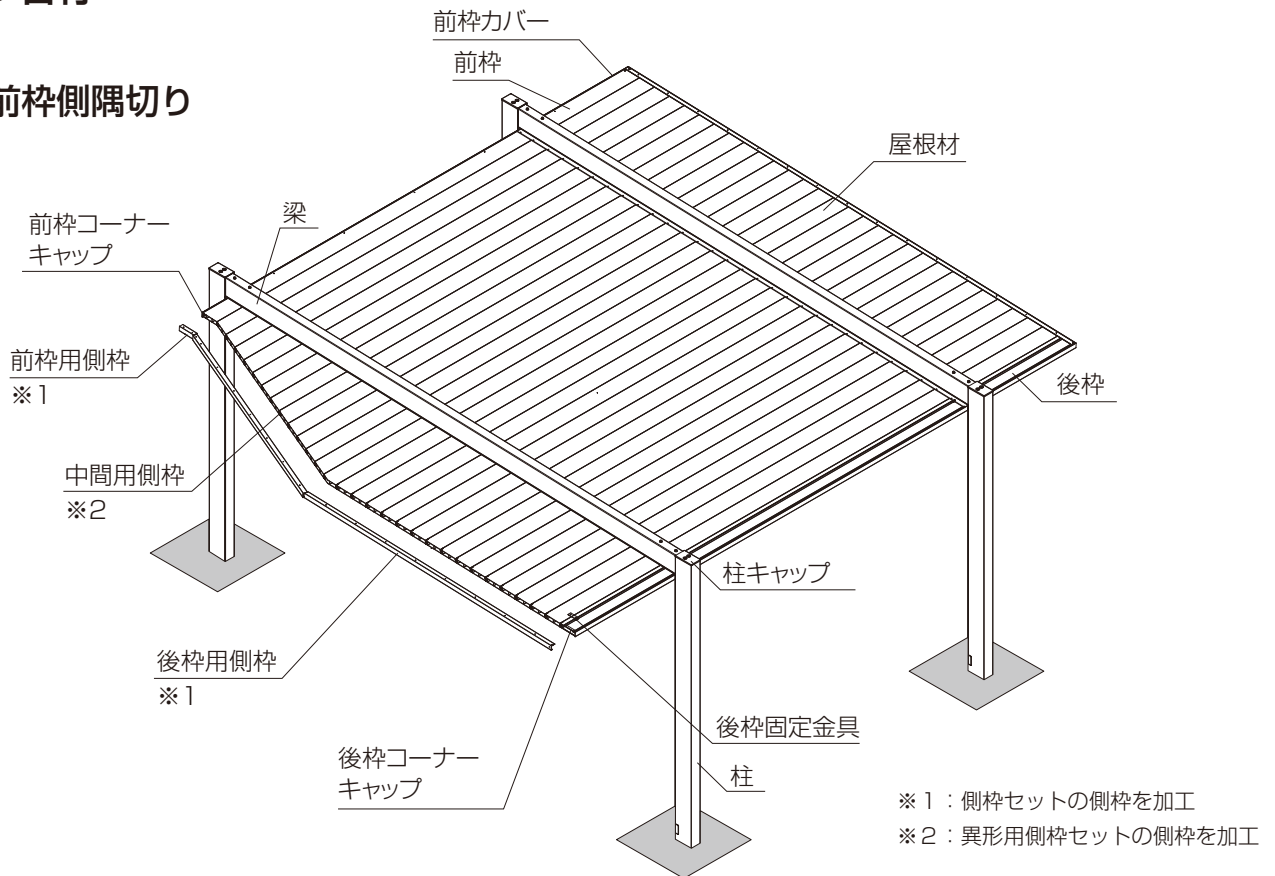
P.38 切詰め完了後は側枠の取付け  
を行いません。  
P.38を確認してください。

# 隅切り

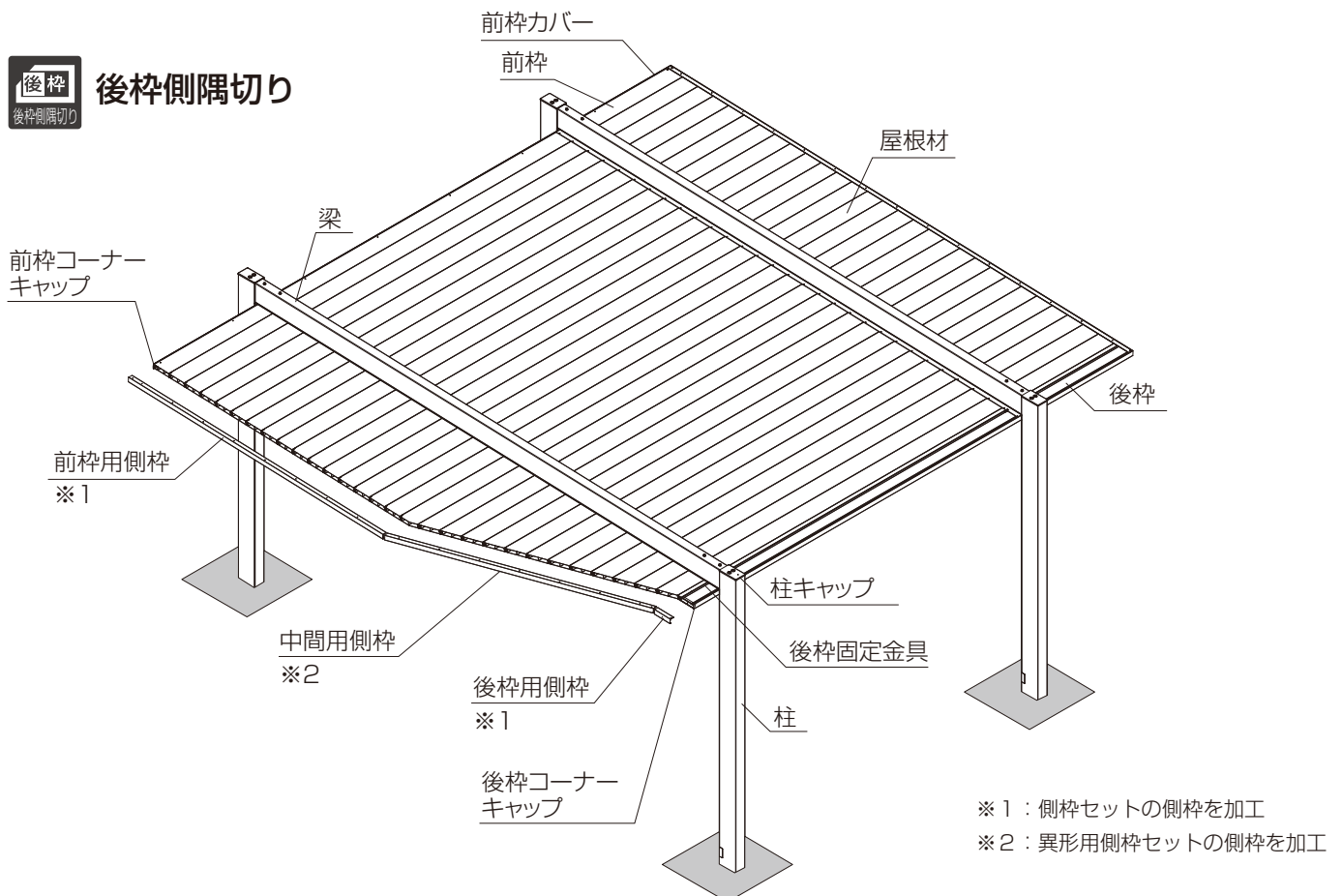
## 各部の名称



### 前枠側隅切り



### 後枠側隅切り



## ■ 施工制限（共通）



カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」を併せて参照してください。

### お願い

隅切り加工は、前枠または後枠を切詰めて屋根材を斜めに加工します。  
下記の施工制限内容をお守りください。

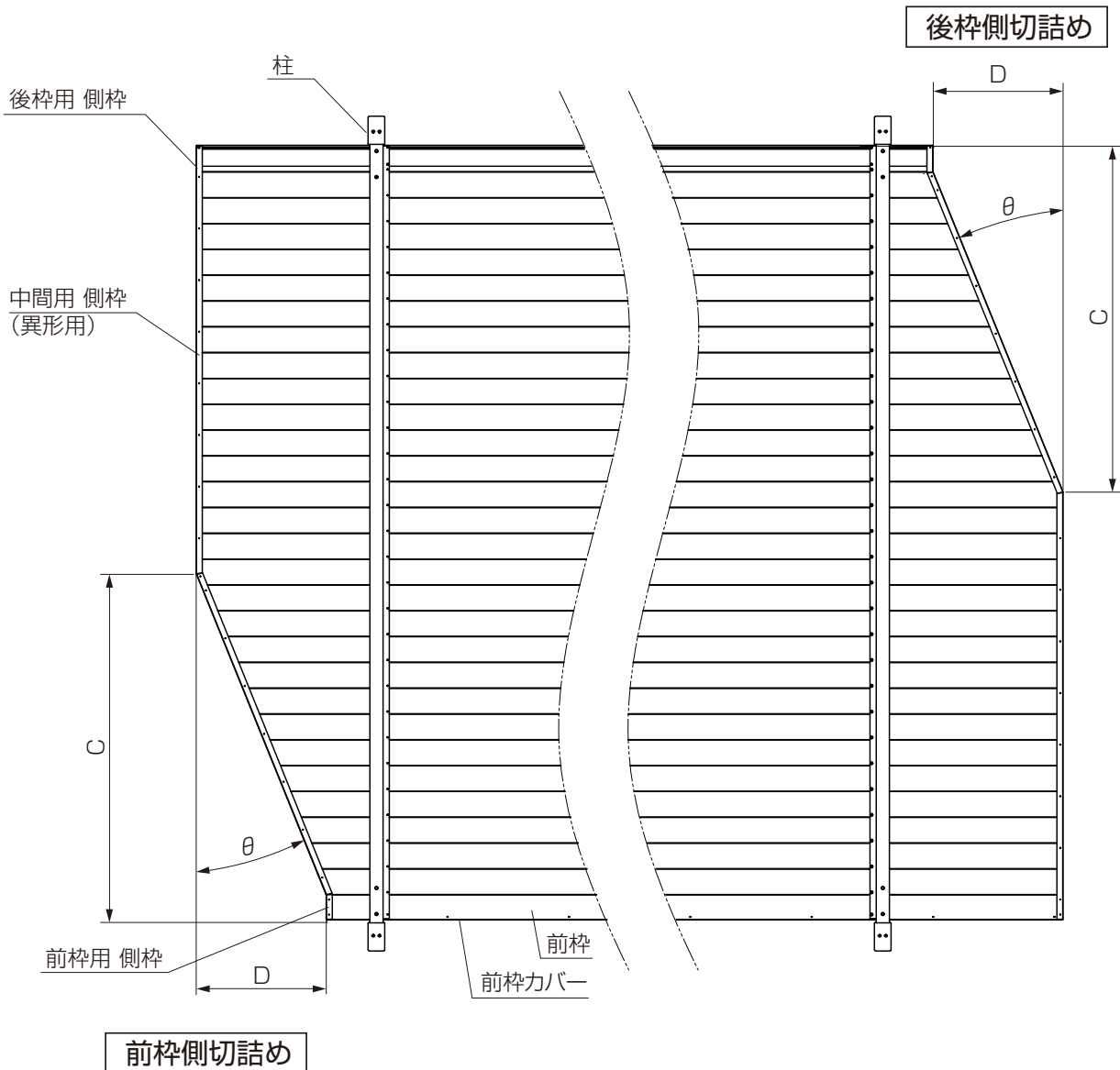


表11 切詰め寸法Dの最大値

	W48/54/60	
	L50	L57
D	785	935

- ・前枠・後枠は切詰め寸法Dの最大値を超えて加工はできません。
- ・柱移動をした場合、移動した長さを差し引きした寸法になります。

表12 切詰め寸法Cの最大値

	W48	W54	W60
C	4333	4932	5530

- ・切詰め寸法Cの最大値を超えて加工はできません。

### 加工角度 $\theta$ の値

- ・加工角度 $\theta$ の範囲は0~45°です。
- ・加工角度 $\theta$ の値を超えて加工はできません。
- ・後枠・前枠の斜め加工はできません。



## 2 加工角度確認

### 補 足

P.42



※加工角度 $\theta$ が整数でなくても加工が可能な場合はP42の方法でも加工ができます。

設定した切詰め寸法L4、W4と数値Fから、実際に切詰める寸法C、Dと加工角度 $\theta$ を求めます。

①P.6、8で設定した切詰め寸法L4を実際に切詰める寸法Dとして記入してください。

②切詰め寸法DとP6.8で求めた寸法W4を使って参照値Pを求めてください。

参照値：Pを求めるための計算方法

切詰め寸法：D	÷	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">数値：F</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">前枠側切詰</td> <td style="width: 50%;">切詰め寸法：W4 - 145</td> </tr> <tr> <td>後枠側切詰</td> <td>切詰め寸法：W4 - 154</td> </tr> </table>	数値：F		前枠側切詰	切詰め寸法：W4 - 145	後枠側切詰	切詰め寸法：W4 - 154	=	参照値：P
数値：F										
前枠側切詰	切詰め寸法：W4 - 145									
後枠側切詰	切詰め寸法：W4 - 154									

③参照値Pより小さい値を表13に当てはめ、加工角度 $\theta$ を求めてください。

表13 加工角度表

参照値 P	加工角度 $\theta$	参照値 P	加工角度 $\theta$	参照値 P	加工角度 $\theta$	参照値 P	加工角度 $\theta$	参照値 P	加工角度 $\theta$
0.0175	1	0.1763	10	0.3443	19	0.5317	28	0.7536	37
0.0349	2	0.1944	11	0.3640	20	0.5543	29	0.7813	38
0.0524	3	0.2126	12	0.3839	21	0.5774	30	0.8098	39
0.0699	4	0.2309	13	0.4040	22	0.6009	31	0.8391	40
0.0875	5	0.2493	14	0.4245	23	0.6249	32	0.8693	41
0.1051	6	0.2679	15	0.4452	24	0.6494	33	0.9004	42
0.1228	7	0.2867	16	0.4663	25	0.6745	34	0.9325	43
0.1405	8	0.3057	17	0.4877	26	0.7002	35	0.9657	44
0.1584	9	0.3249	18	0.5095	27	0.7265	36	1.0000	45

④切詰め寸法Dと表13の加工角度 $\theta$ に対する参照値Pを使って、実際の切詰め寸法Cを求めてください。

切詰め寸法：D	÷	参照値：P	+	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">前枠側切詰</td> <td style="width: 50%;">145</td> </tr> <tr> <td>後枠側切詰</td> <td>154</td> </tr> </table>	前枠側切詰	145	後枠側切詰	154	=	実際に切詰める寸法：C	
前枠側切詰	145										
後枠側切詰	154										
							W4：設定値 C：加工値				

⑤実際に切詰める寸法CがW4より大きいこと、表12のC値より小さいことを確認してください。

※上記を満たさない場合は、P.6.8に戻り基礎の位置を変える等の対策をしてください。

**例** 屋根サイズL50W54のL4を400mm、W4を850mm切詰めたい場合の加工角度 $\theta$ の求め方

切詰め寸法：D	÷	<table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">数値：F</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%;">850 - 145</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> </table>	数値：F		850 - 145		=	参照値：P
数値：F								
850 - 145								
400				0.5673				

		参照値 P	加工角度 $\theta$	
		0.5317	28	
参照値P 「0.5673」	➔	0.5543	29	加工角度 $\theta = 29^\circ$
		0.5774	30	
		0.6009	31	

※参照値より小さく、一番近い値を選択してください。

切詰め寸法：D	÷	参照値:P(表13)	+	前枠側切詰		=	実際に切詰める寸法：C
400		0.5543		145			867

実際に切詰める寸法C=867 がW4:850 より大きく、表12のC値:4932より小さいことを確認

**実際に切詰める寸法C：867mm**  
**加工角度 $\theta$ ：29°**

### 3 部材の加工（前枠側切詰め）

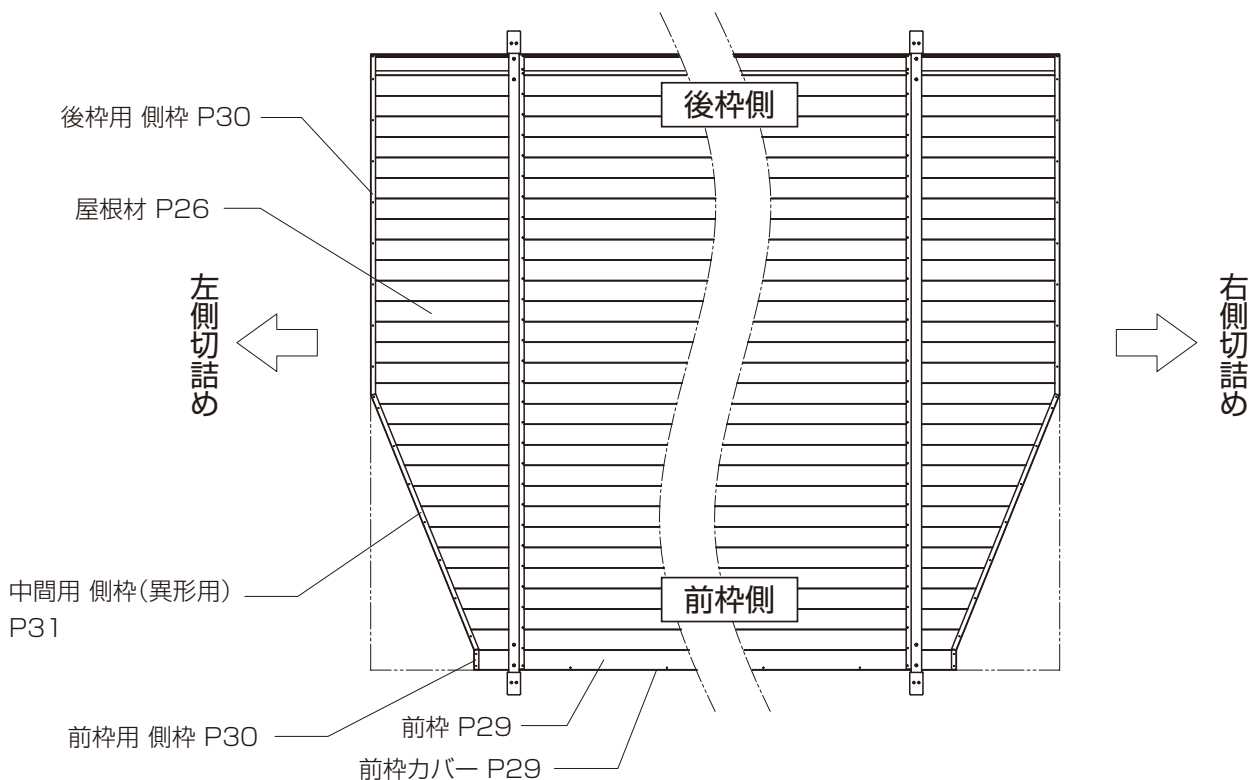


【前枠側隅切り】の  
場合の作業です。



カーポート本体の寸法や施工方法に関しては  
「SC ワイド基本・縦連棟(D649)」  
を併せて参照してください。

#### 全体配置確認



#### お願い

- ・前枠側切詰めを施工の場合は【屋根材】【前枠】【前枠カバー】【側枠】【側枠(異形用)】の加工が必要です。
- ・[左側切詰め][右側切詰め]があります。部材の配置と形材の切断する向きを確認し、加工してください。

#### 屋根材の加工

#### お願い

- ・前枠側切詰めの場合、前枠側の屋根材を1枚目として加工説明します。
- ・[左側切詰め][右側切詰め]があります。部材の配置と形材の切断する向きを確認し、加工してください。

#### ●切詰め寸法Cから屋根材加工枚数の確認（参考値）

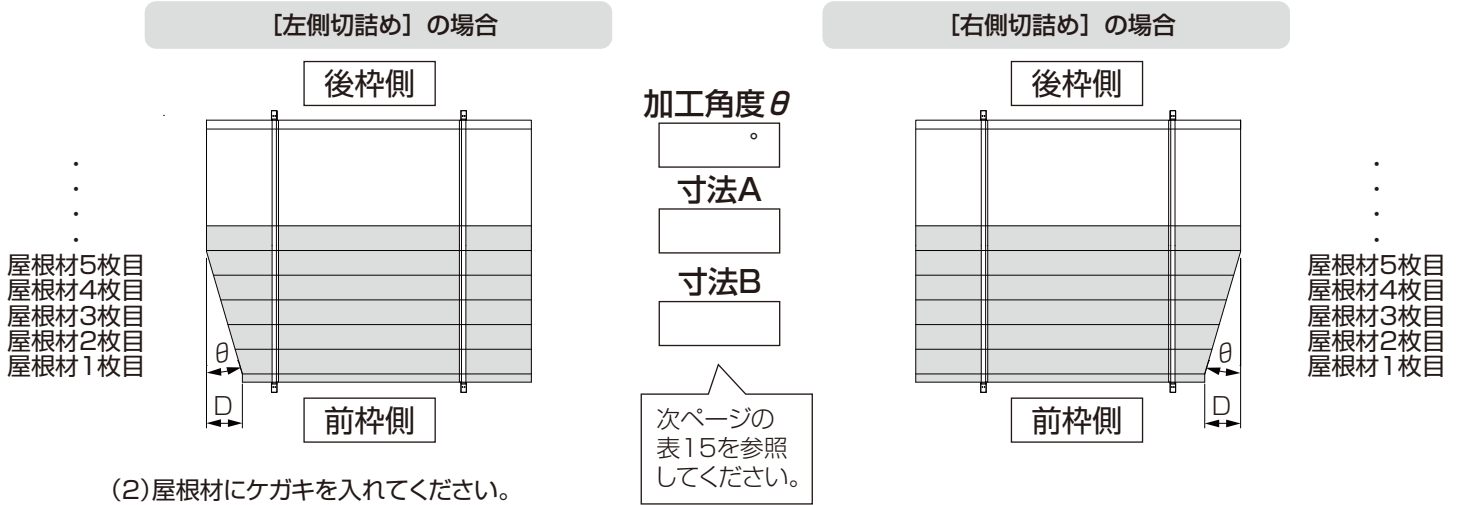
表14

寸法C	屋根材加工枚数	寸法C	屋根材加工枚数	寸法C	屋根材加工枚数
145~293	1枚	1933~2081	13枚	3721~3869	25枚
294~442	2枚	2082~2230	14枚	3870~4018	26枚
443~591	3枚	2231~2379	15枚	4019~4167	27枚
592~740	4枚	2380~2528	16枚	4168~4316	28枚
741~889	5枚	2529~2677	17枚	4317~4465	29枚
890~1038	6枚	2678~2826	18枚	4466~4614	30枚
1039~1187	7枚	2827~2975	19枚	4615~4763	31枚
1188~1336	8枚	2976~3124	20枚	4764~4912	32枚
1337~1485	9枚	3125~3273	21枚	4913~5061	33枚
1486~1634	10枚	3274~3422	22枚	5062~5210	34枚
1635~1783	11枚	3423~3571	23枚	5211~5359	35枚
1784~1932	12枚	3572~3720	24枚	5360~5508	36枚

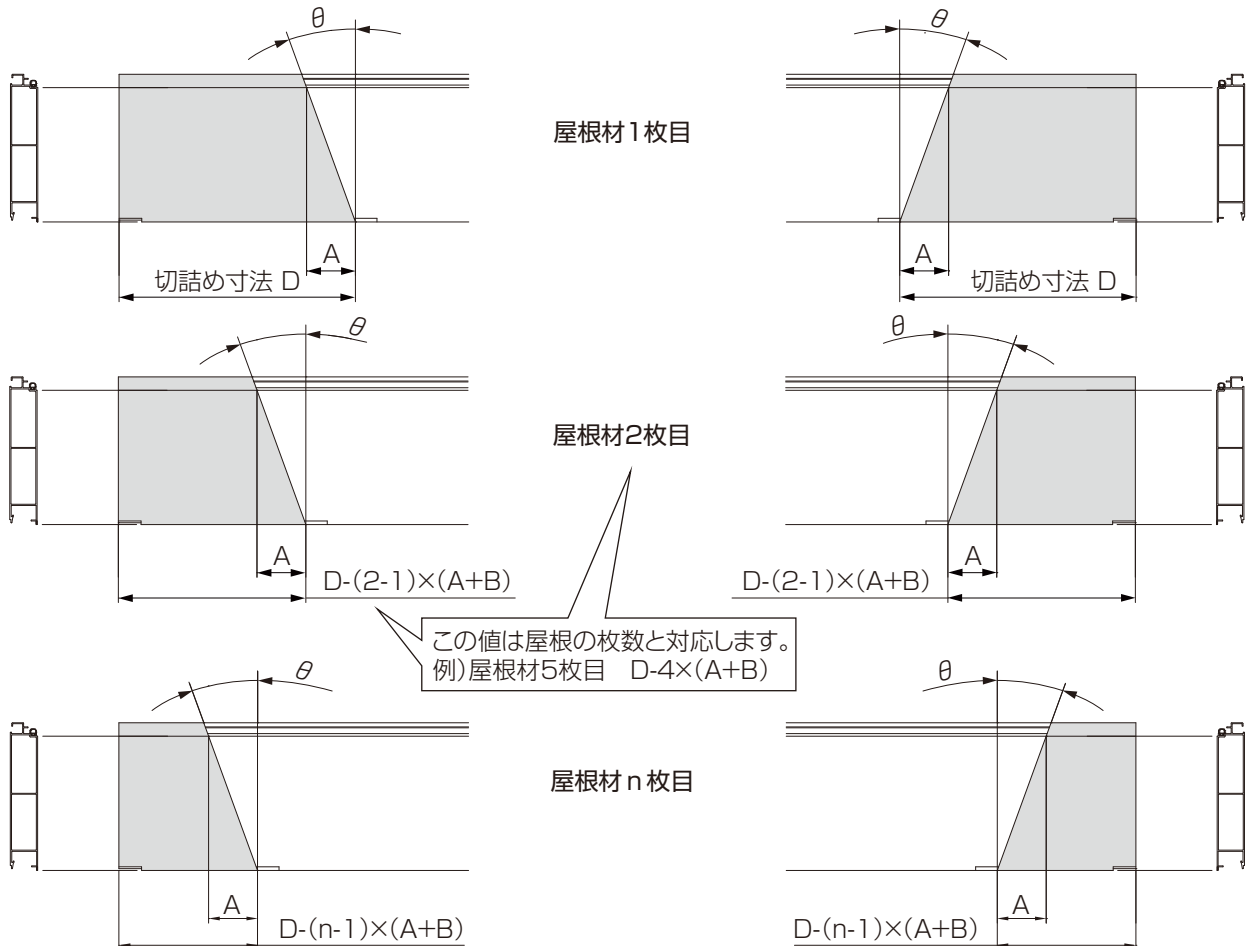
W方向の切詰め寸法 C  
を左表に当てはめ、  
加工が必要な屋根材の  
枚数を確認してください。

## 屋根材の加工手順

- (1) P.28の【表15 屋根材加工表】を参照し、P.25で求めた加工角度 $\theta$ に対応した「寸法A」「寸法B」を確認してください。



- (2) 屋根材にケガキを入れてください。



- (3) 屋根材を斜めに切断加工してください。  
 (4) 斜め加工した屋根材フィン部の切欠き加工をしてください。

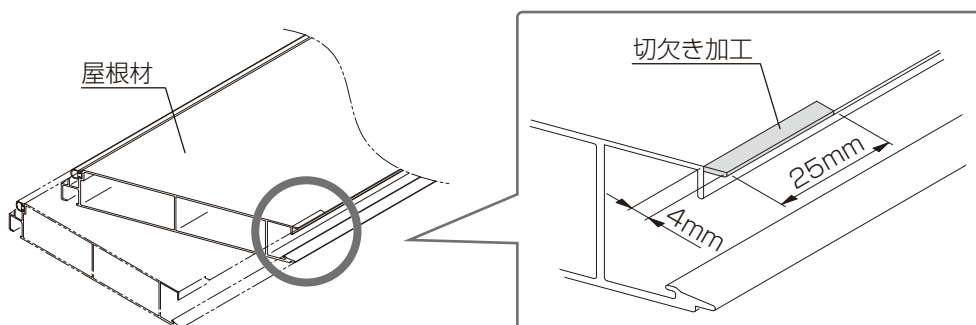


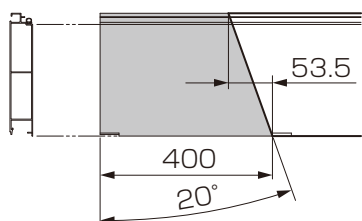
表15 屋根材加工表

加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B	加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B	加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B	加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B
1	2.5	0	13	34	0.5	25	69	1	37	111	1.5
2	5	0	14	37	0.5	26	72	1	38	115.5	1.5
3	7.5	0	15	39.5	0.5	27	75	1	39	119.5	1.5
4	10.5	0	16	42.5	0.5	28	78.5	1	40	124	1.5
5	13	0	17	45	0.5	29	82	1	41	128.5	2
6	15.5	0	18	48	0.5	30	85	1	42	133	2
7	18	0	19	51	0.5	31	88.5	1	43	137.5	2
8	20.5	0.5	20	53.5	0.5	32	92	1	44	142.5	2
9	23.5	0.5	21	56.5	1	33	96	1.5	45	147.5	2
10	26	0.5	22	59.5	1	34	99.5	1.5			
11	28.5	0.5	23	62.5	1	35	103.5	1.5			
12	31.5	0.5	24	65.5	1	36	107	1.5			

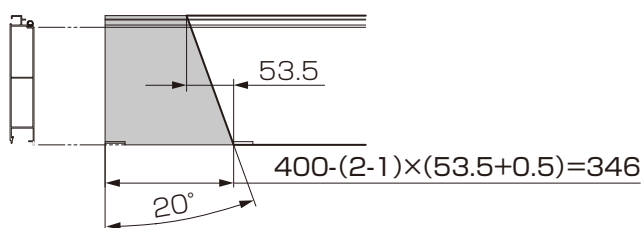
**例** 加工角度 $20^\circ$ 、D寸法400mmで隅切りの屋根材を加工する場合(左側切詰め)

加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B
20	53.5	0.5

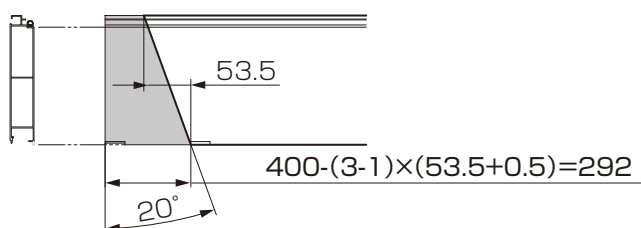
屋根材1枚目



屋根材2枚目



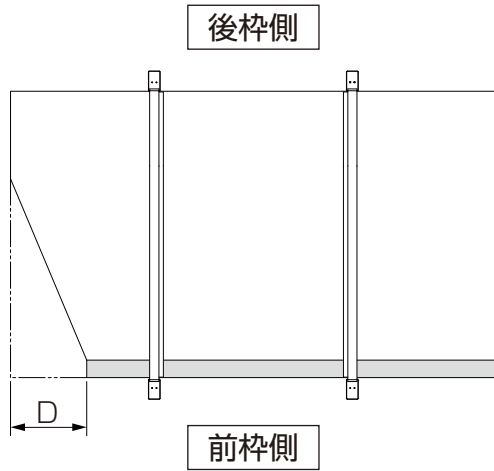
屋根材3枚目



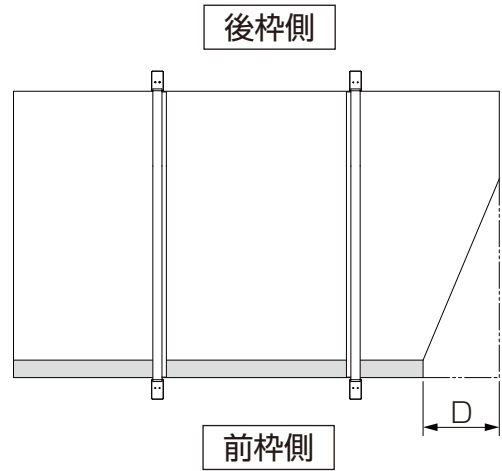
## □ 前枠・前枠カバーの加工

①P.25で確認した切詰め寸法Dで、前枠・前枠カバーを切断し、穴加工をしてください。

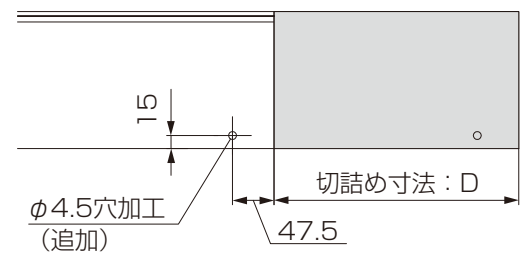
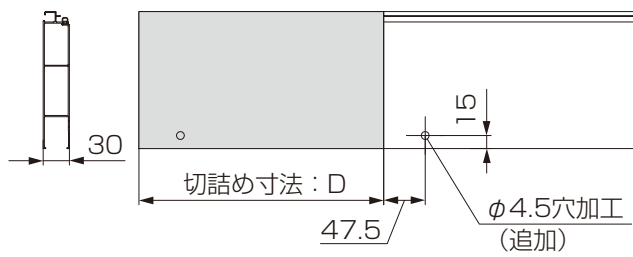
【左側切詰め】の場合



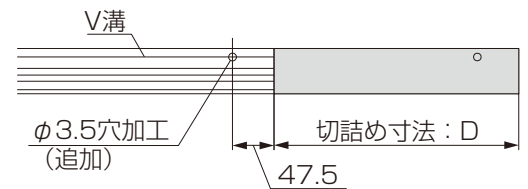
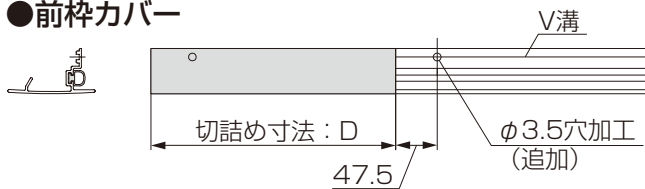
【右側切詰め】の場合



### ●前枠



### ●前枠カバー



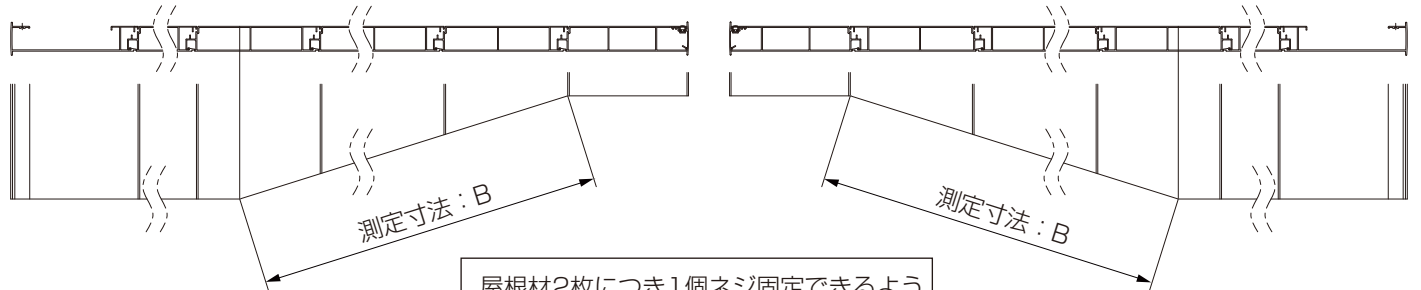


## ●中間用 側枠の加工

- ①図を参照して組み立てた屋根の『測定寸法:B』を確認してください。
- ②異形用側枠セットの側枠を、寸法Bと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。
- ③図を参照し両端部から30mmの位置に $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。
- ④下記図を参照して屋根材2枚につき1個ネジ固定するピッチで $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。
- ⑤パッキンを異形用側枠に貼り付けてください。パッキンのつなぎ目に目印を付けてください。

【左側切詰め】の場合

【右側切詰め】の場合



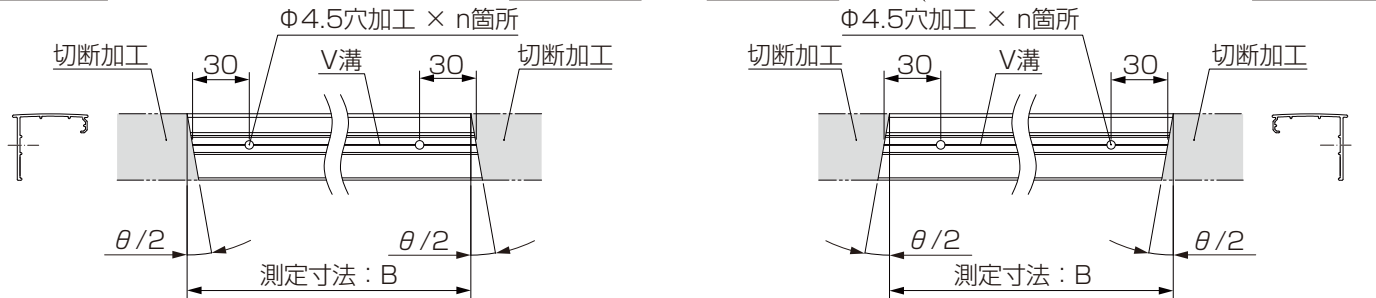
屋根材2枚につき1個ネジ固定できるように  
現物合わせで穴加工してください。

後枠側

前枠側

前枠側

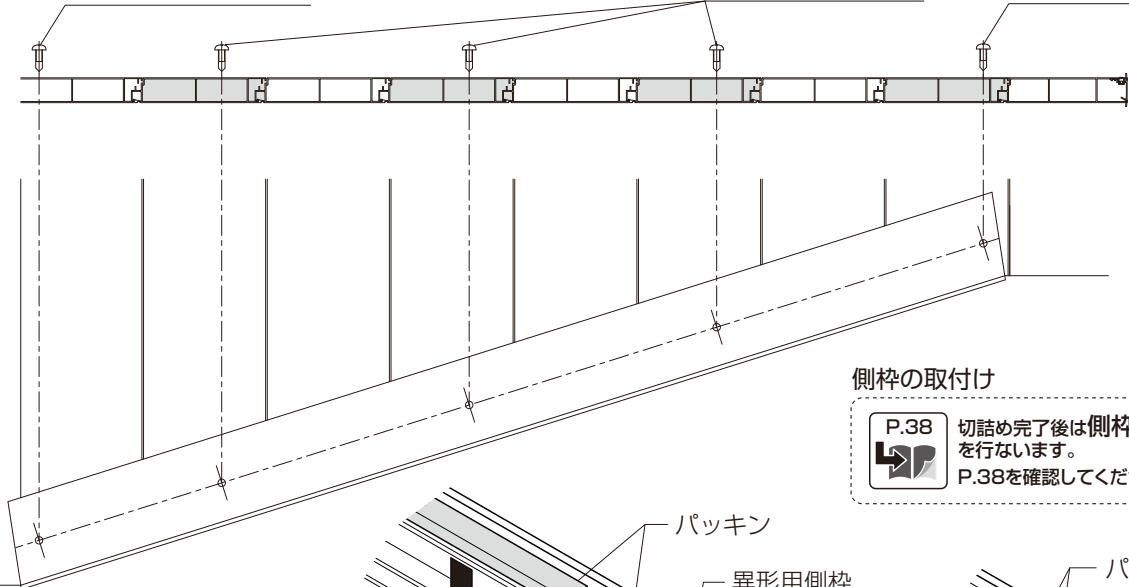
後枠側



端部穴加工取付けネジ

③穴加工取付けネジ

端部穴加工取付けネジ



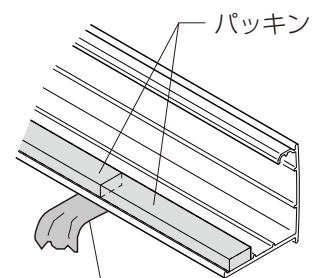
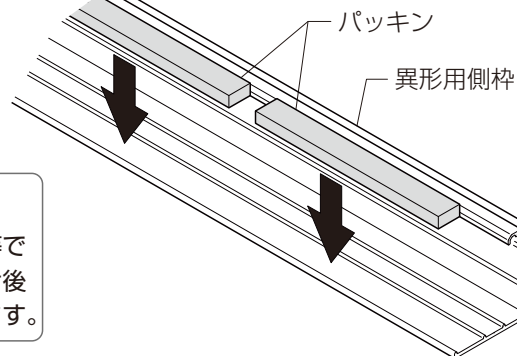
側枠の取付け



P.38 切詰め完了後は側枠の取付け  
を行いません。  
P.38を確認してください。

### お願い

パッキンのつなぎ目がわかるように、  
異形用側枠の表面に、マスキングテープ等  
印をつけてください。異形用側枠取り付け後  
にパッキンのつなぎ目に、シーリングします。



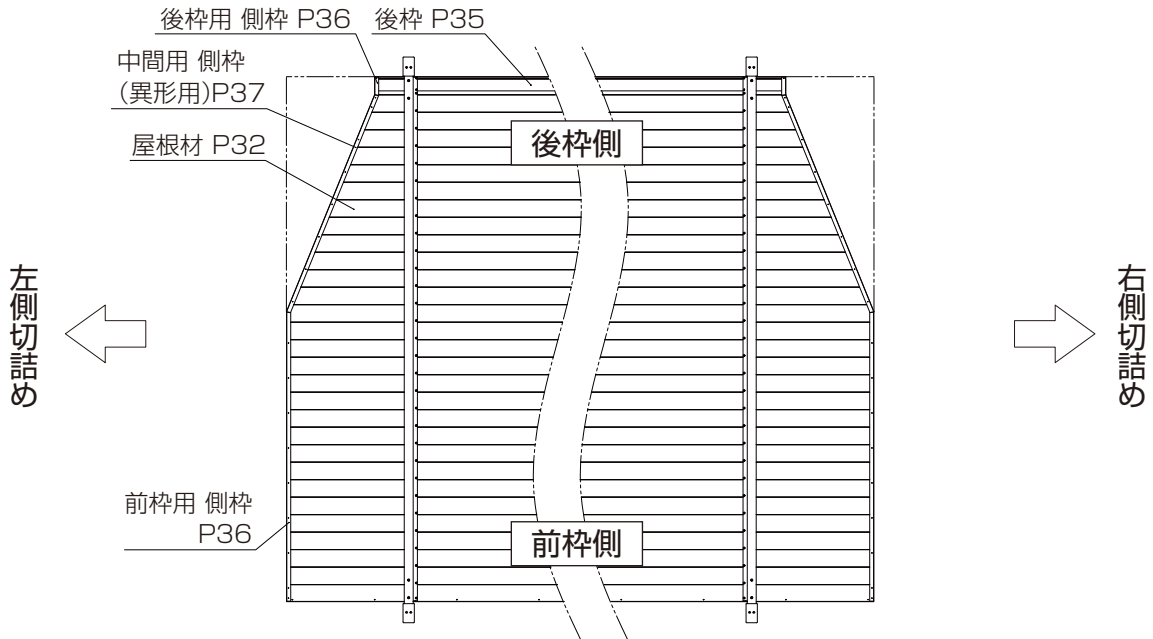
マスキングテープ

### 3 部材の加工（後枠側切詰め）

#### 全体配置確認

**後枠** 【後枠側隅切り】の  
後枠側隅切りの  
場合の作業です。

カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本・縦連棟 (D649)」を併せて参照してください。



#### お願い

- ・後枠側切詰めを施工の場合は【屋根材】【後枠】【側枠】【側枠(异形用)】の加工が必要です。
- ・[左側切詰め][右側切詰め]があります。部材の配置と形材の切断する向きを確認し、加工してください。

#### 屋根材の加工

#### お願い

- ・後枠側切詰めの場合、後枠側の屋根材を1枚目として加工説明します。
- ・[左側切詰め][右側切詰め]があります。部材の配置と形材の切断する向きを確認し、加工してください。

#### ●切詰め寸法Cから屋根材加工枚数の確認（参考値）

表16

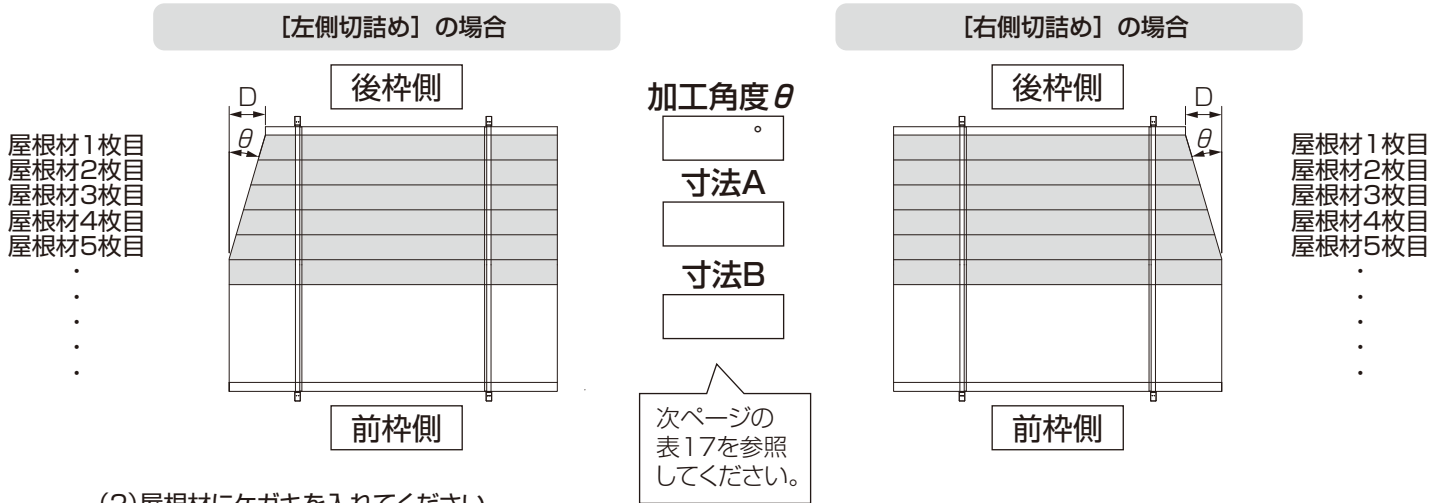
寸法C	屋根材加工枚数	寸法C	屋根材加工枚数	寸法C	屋根材加工枚数
150~298	1枚	1938~2086	13枚	3726~3874	25枚
299~447	2枚	2087~2235	14枚	3875~4023	26枚
448~596	3枚	2236~2384	15枚	4024~4172	27枚
597~745	4枚	2385~2533	16枚	4173~4321	28枚
746~894	5枚	2534~2682	17枚	4322~4470	29枚
895~1043	6枚	2683~2831	18枚	4471~4619	30枚
1044~1192	7枚	2832~2980	19枚	4620~4768	31枚
1193~1341	8枚	2981~3129	20枚	4769~4917	32枚
1342~1490	9枚	3130~3278	21枚	4918~5066	33枚
1491~1639	10枚	3279~3427	22枚	5067~5215	34枚
1640~1788	11枚	3428~3576	23枚	5216~5364	35枚
1789~1937	12枚	3577~3725	24枚	5365~5513	36枚

W方向の切詰め寸法 C を左表に当てはめ、加工が必要な屋根材の枚数を確認してください。

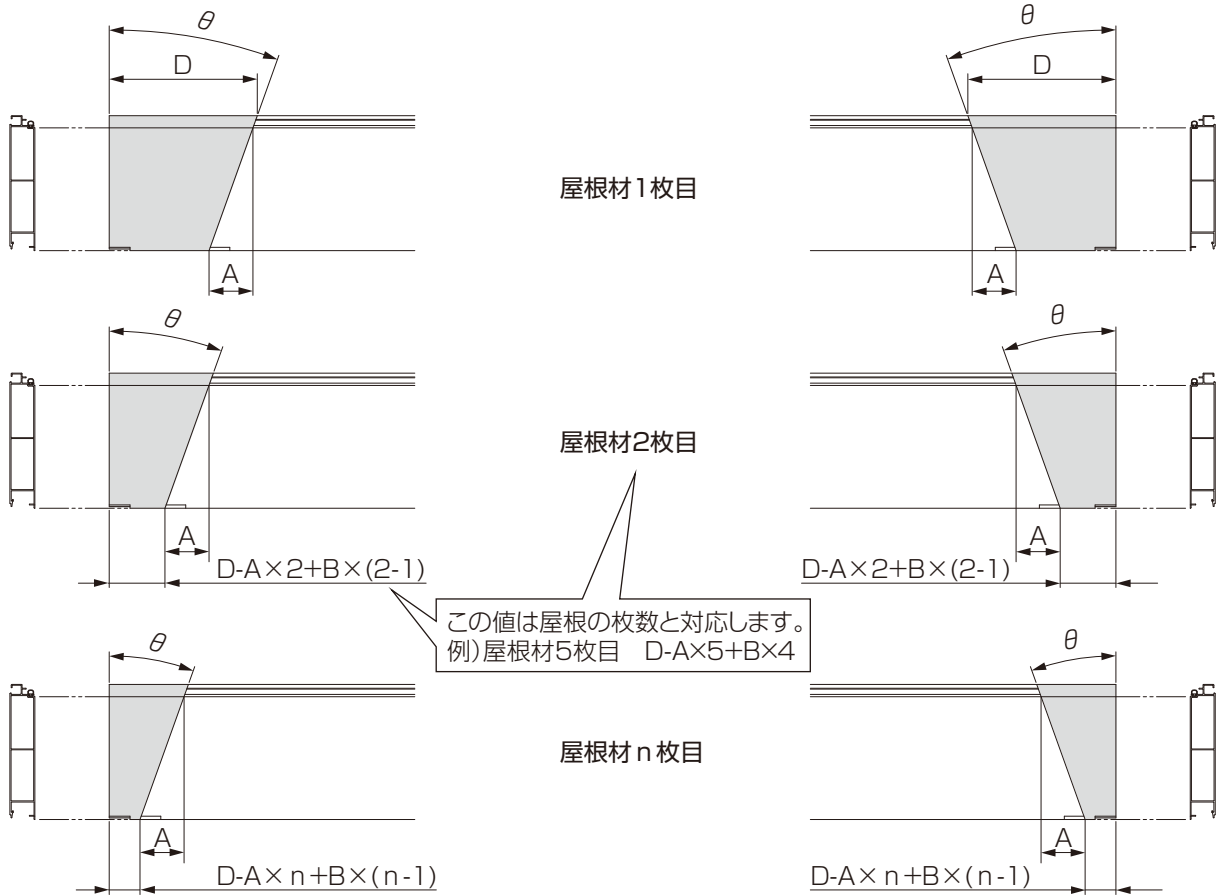


## 屋根材の加工手順

(1) P.34の【表17 屋根材加工表】を参照し、P.25で求めた加工角度 $\theta$ に対応した「寸法A」「寸法B」を確認してください。



(2) 屋根材にケガキを入れてください。



(3) 屋根材を斜めに切断加工してください。

(4) 斜め加工した屋根材フィン部の切欠き加工をしてください。

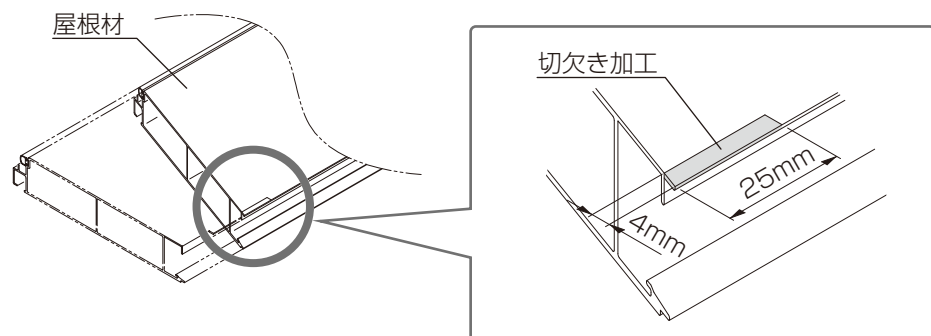


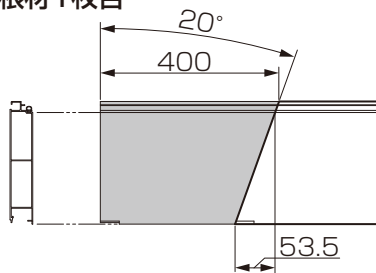
表17 屋根材加工表

加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B	加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B	加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B	加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B
1	2.5	0	13	34	0.5	25	69	1	37	111	1.5
2	5	0	14	37	0.5	26	72	1	38	115.5	1.5
3	7.5	0	15	39.5	0.5	27	75	1	39	119.5	1.5
4	10.5	0	16	42.5	0.5	28	78.5	1	40	124	1.5
5	13	0	17	45	0.5	29	82	1	41	128.5	2
6	15.5	0	18	48	0.5	30	85	1	42	133	2
7	18	0	19	51	0.5	31	88.5	1	43	137.5	2
8	20.5	0.5	20	53.5	0.5	32	92	1	44	142.5	2
9	23.5	0.5	21	56.5	1	33	96	1.5	45	147.5	2
10	26	0.5	22	59.5	1	34	99.5	1.5			
11	28.5	0.5	23	62.5	1	35	103.5	1.5			
12	31.5	0.5	24	65.5	1	36	107	1.5			

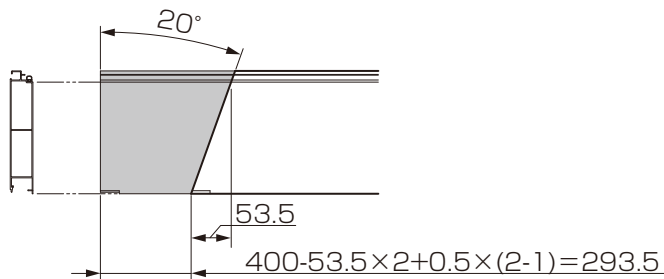
**例** 加工角度20°、D寸法400mmで隔切りの屋根材を加工する場合(左側切詰め)

加工角度 $\theta$	寸法A	寸法B
20	53.5	0.5

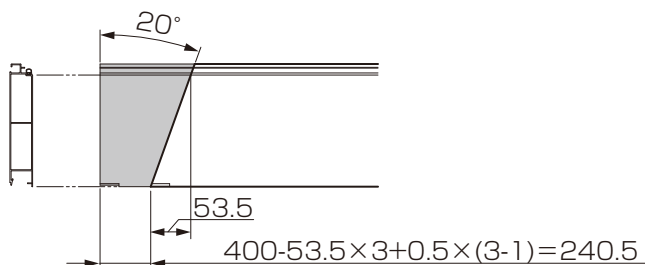
屋根材1枚目



屋根材2枚目



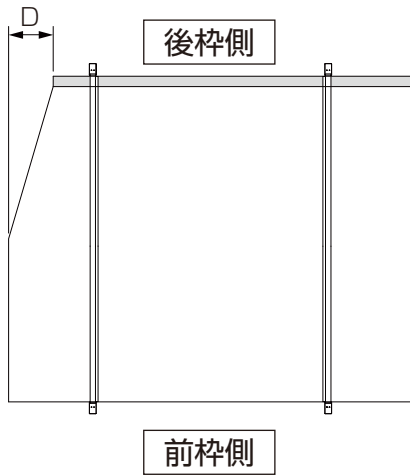
屋根材3枚目



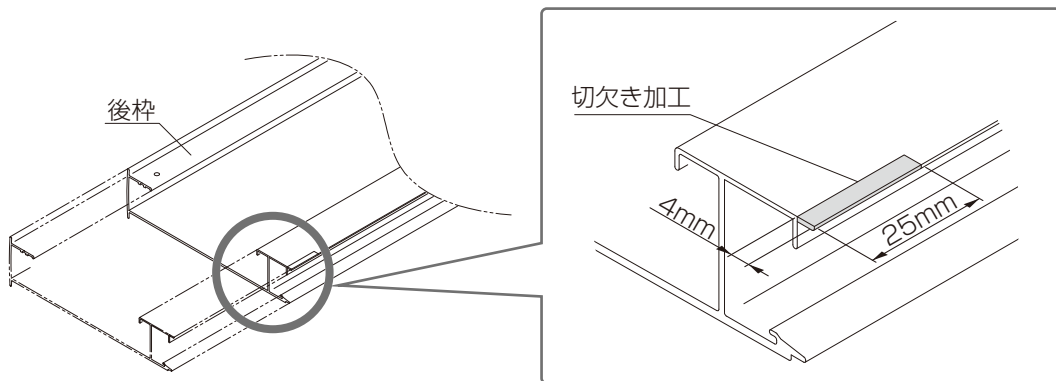
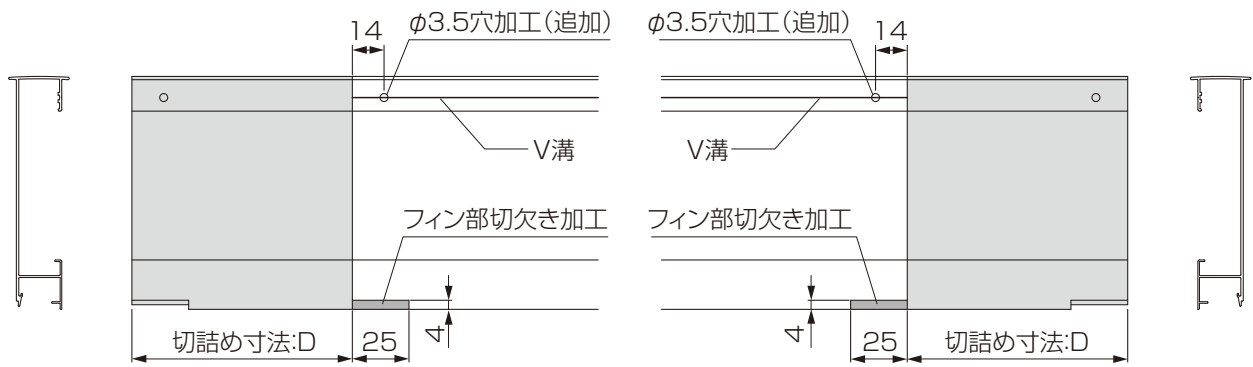
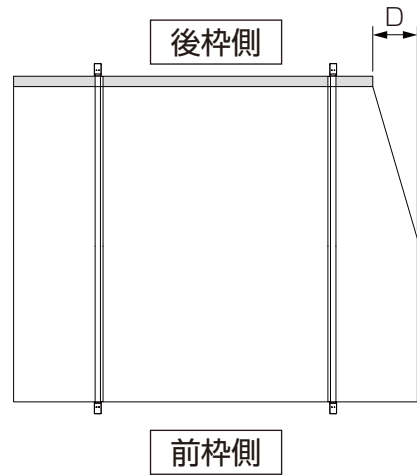
## □ 後枠の加工

- ①P.25で確認した切詰め寸法Dで後枠を切断し、穴加工をしてください。
- ②フィン部の切欠き加工をしてください。

【左側切詰め】の場合



【右側切詰め】の場合



## 4 側枠の加工（後枠側切詰め）

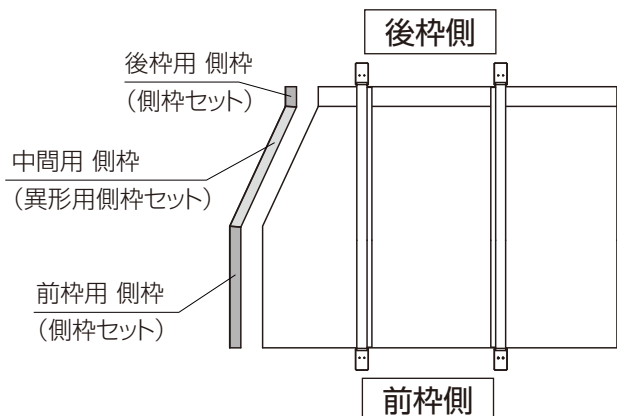


【後枠側切詰め】の  
場合の作業です。

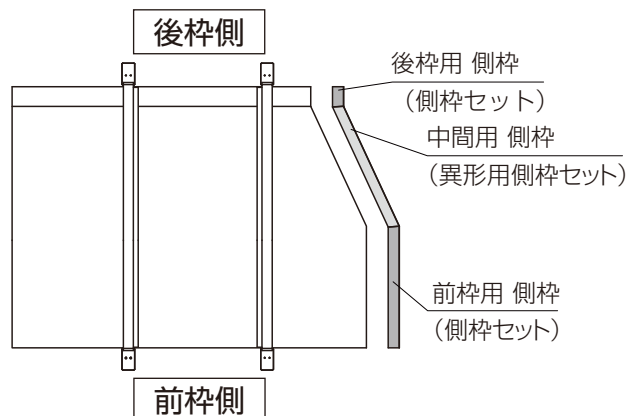


カーポート本体の寸法や施工方法に関しては  
「SC ワイド基本・縦連棟 (D649)」  
を併せて参照してください。

【左側切詰め】の場合

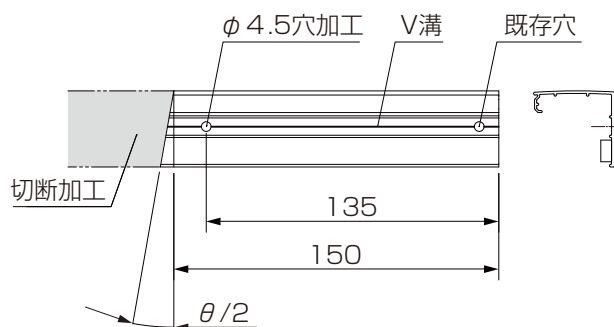
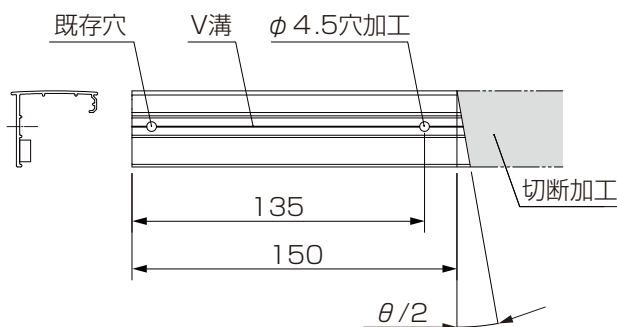


【右側切詰め】の場合



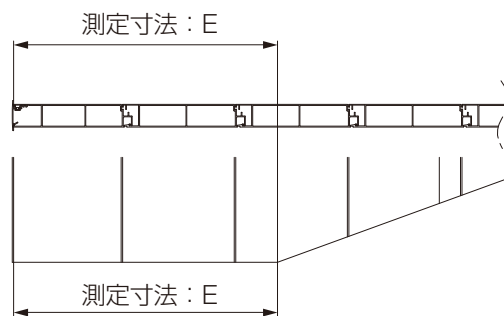
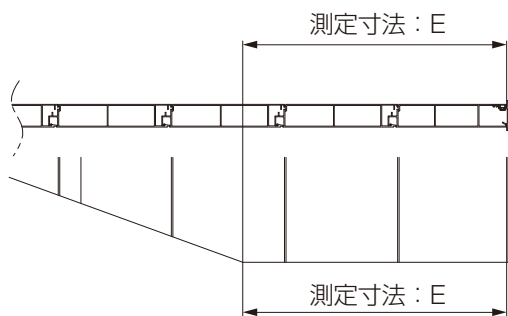
### ●後枠用側枠の加工

- ①側枠セットの側枠(後枠側)を、側面部150mmと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。
- ②図を参照し端部から135mmの位置に $\phi 4.5$ 穴加工をしてください。



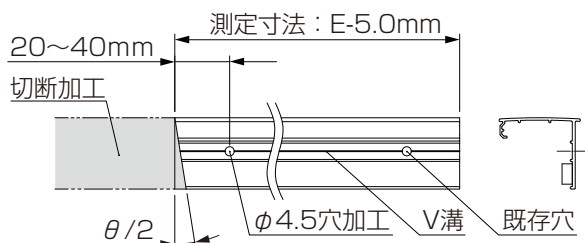
### ●前枠用側枠の加工

- ①図を参照して『測定寸法:E』を確認してください。
- ②側枠セットの側枠(前枠側)を、側面部長さ『測定寸法:E-5.0mm』と角度 $\theta/2$ で切断加工してください。
- ③斜め加工面から20~40mmの位置に $\phi 4.5$ 穴加工をしてください。



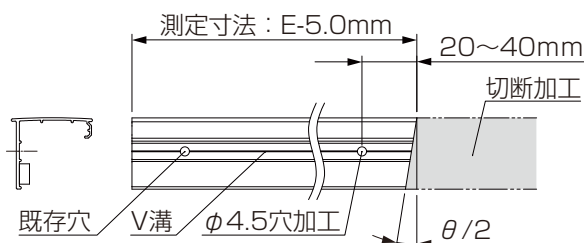
後枠側

前枠側



前枠側

後枠側

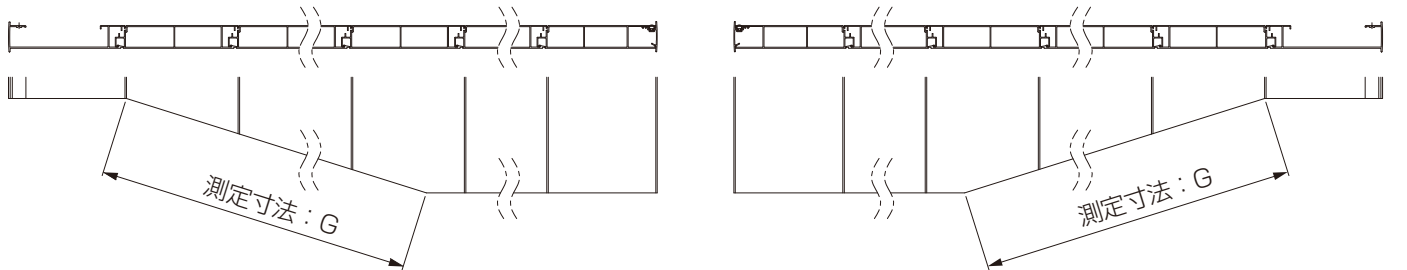


## ●中間用 側枠の加工

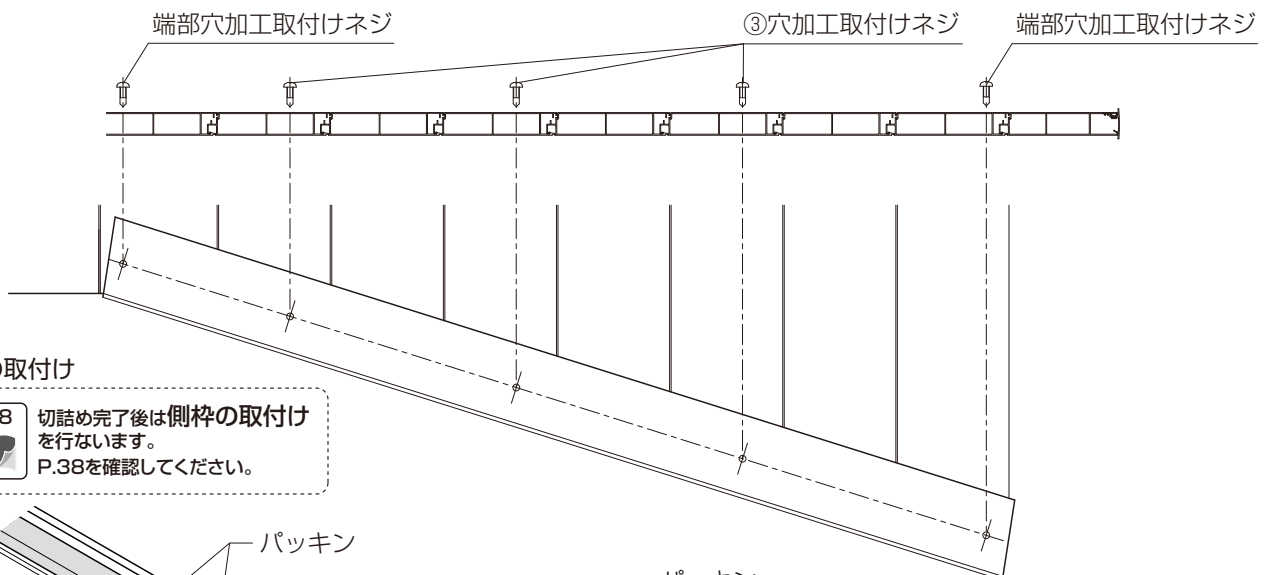
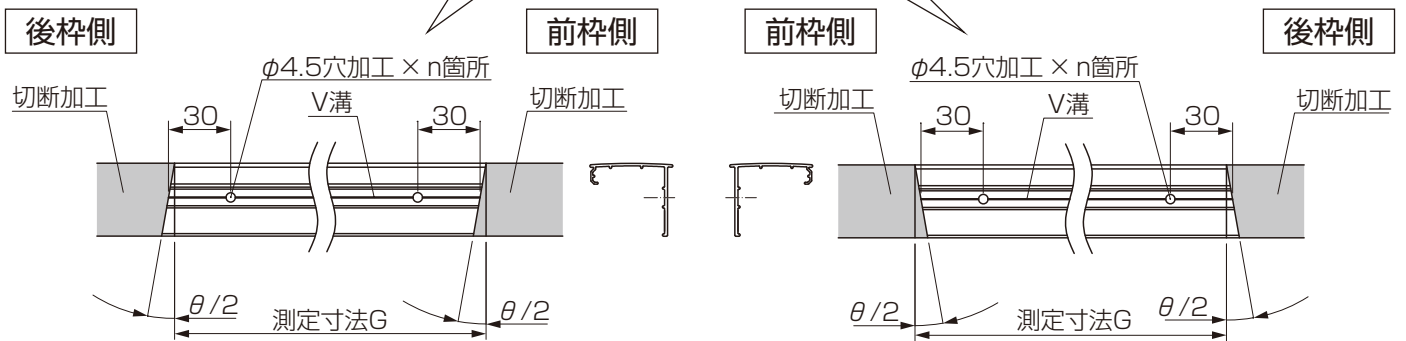
- ①図を参照して組み立てた屋根の『測定寸法:G』を確認してください。
- ②異形用側枠セットの側枠を、寸法Gと角度 $\theta/2$ で切断加工してください。
- ③図を参照し両端部から30mmの位置に $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。
- ④下記図を参照して屋根材2枚につき1個ネジ固定するピッチで $\phi 4.5$ の穴加工をしてください。
- ⑤パッキンを異形用側枠に貼り付けてください。パッキンのつなぎ目に目印を付けてください。

【左側切詰め】の場合

【右側切詰め】の場合

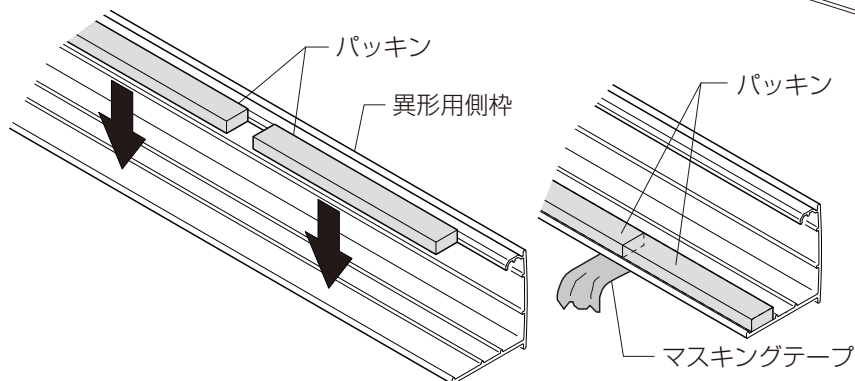


屋根材2枚につき1個ネジ固定できるように  
現物合わせで穴加工してください。



### 側枠の取付け

**P.38** 切詰め完了後は側枠の取付け  
を行ないます。  
P.38を確認してください。



### お願い

パッキンのつなぎ目がわかるように、  
異形用側枠の表面に、マス킹テープ等で  
印をつけてください。異形用側枠取り付け後  
にパッキンのつなぎ目に、シーリングします。

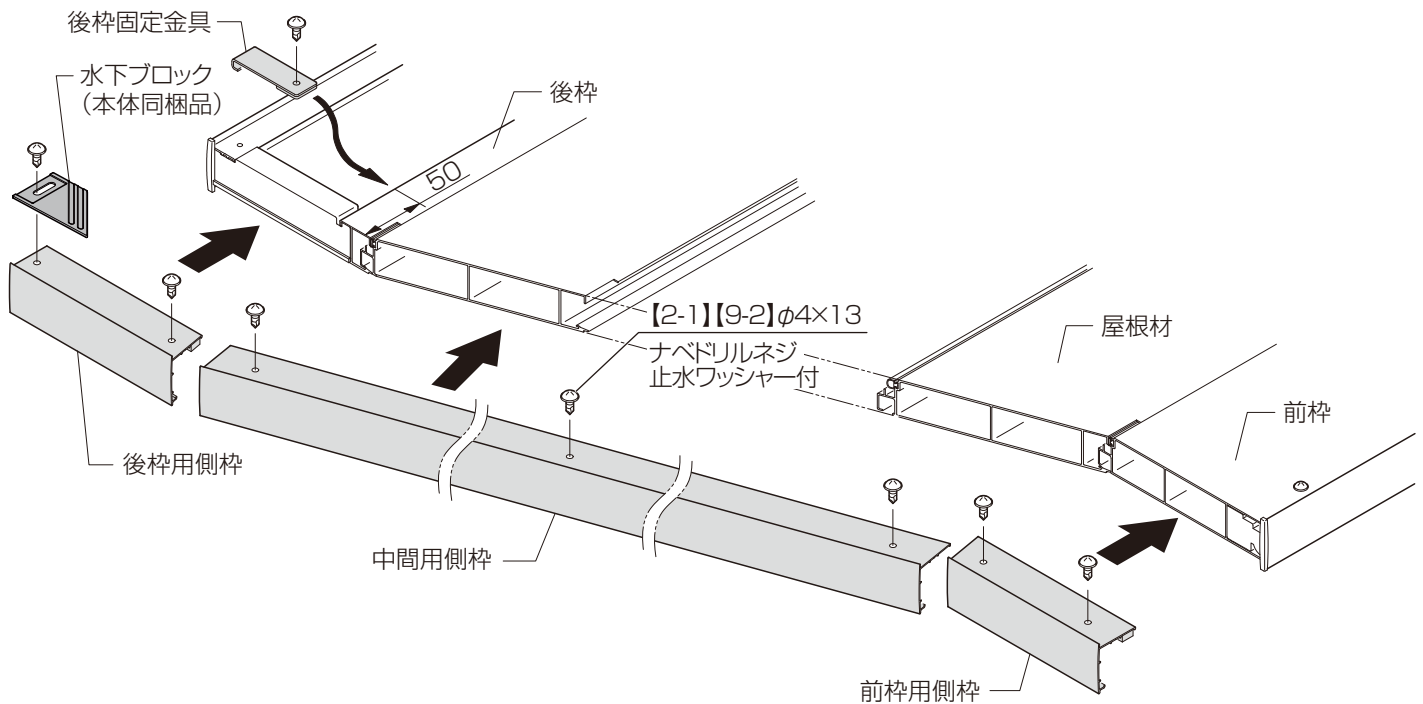
# 側枠の取付けとシーリング

## 5 側枠の取付けとシーリング

- ① 本体取付説明書を参考にして、屋根材にシーリングをしてください。
- ② 水下ブロック(本体同梱品)と一緒に後枠用側枠を【2-1】または屋根組立部品セット【9-2】で取り付けてください。
- ③ 中間用側枠、前枠用側枠を【2-1】または屋根組立部品セット【9-2】で取り付けてください。
- ④ 後枠固定金具を後枠端部から50mm程度の位置に【2-1】で取り付けてください。  
中間用側枠と干渉する場合は、干渉しない位置に取り付けてください。



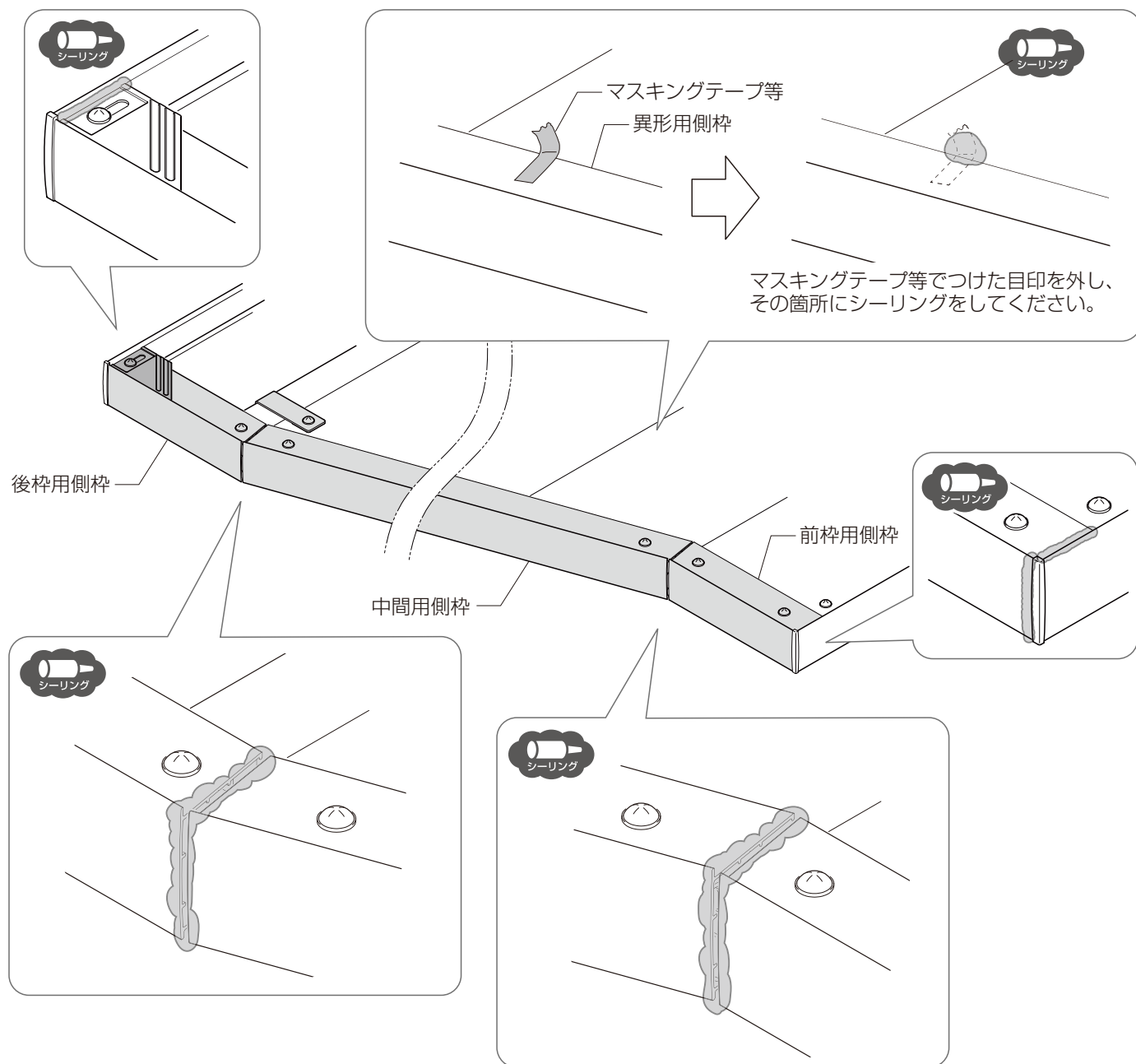
カーポート本体の寸法や施工方法に関しては「SC ワイド基本 縦連棟(D649)」を併せて参照してください。



⑤前枠用側枠、中間用側枠、後枠用側枠の端部、およびつなぎ目にシーリングをしてください。

⑥中間用側枠のパッキンのつなぎ目にシーリングをしてください。

パッキンのつなぎ目から雨水が入り込まないようにするためです。



**お願い**

側枠の下面にはシーリングをしないでください。  
水の抜け穴になります。

## ■ $\theta$ が整数でなくても加工が可能な場合(正面台形)

(1) L4と表18から加工寸法Xを計算し、求めてください。

$$\begin{array}{|c|} \hline X \\ \hline \end{array} = 149 \times \begin{array}{|c|} \hline L4 \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline W \\ \hline \end{array}$$

表18

	W48	W54	W60
W	4172	4768	5364

(2) 求めたXを参考にし、表19からYを求めてください。

表19

X	Y
0~27	0
27~80	0.5
80~133	1
133~149	1.5

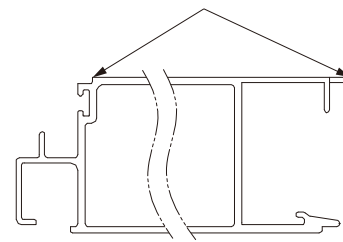
(3) 屋根材にケガキを入れてください。

### ● 前枠側切詰めの場合

※後枠側の屋根材を1枚目として加工説明します。

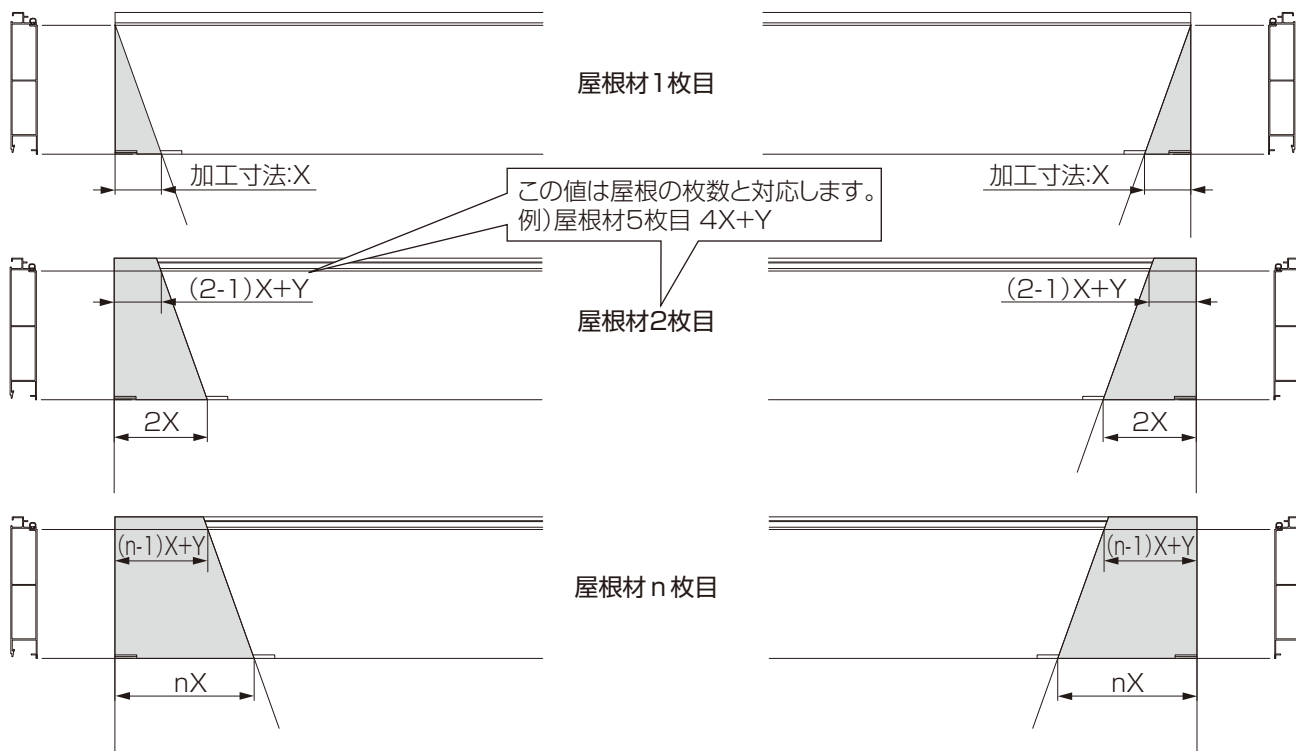
お願い

この角にケガキを入れてください



【左側切詰め】の場合

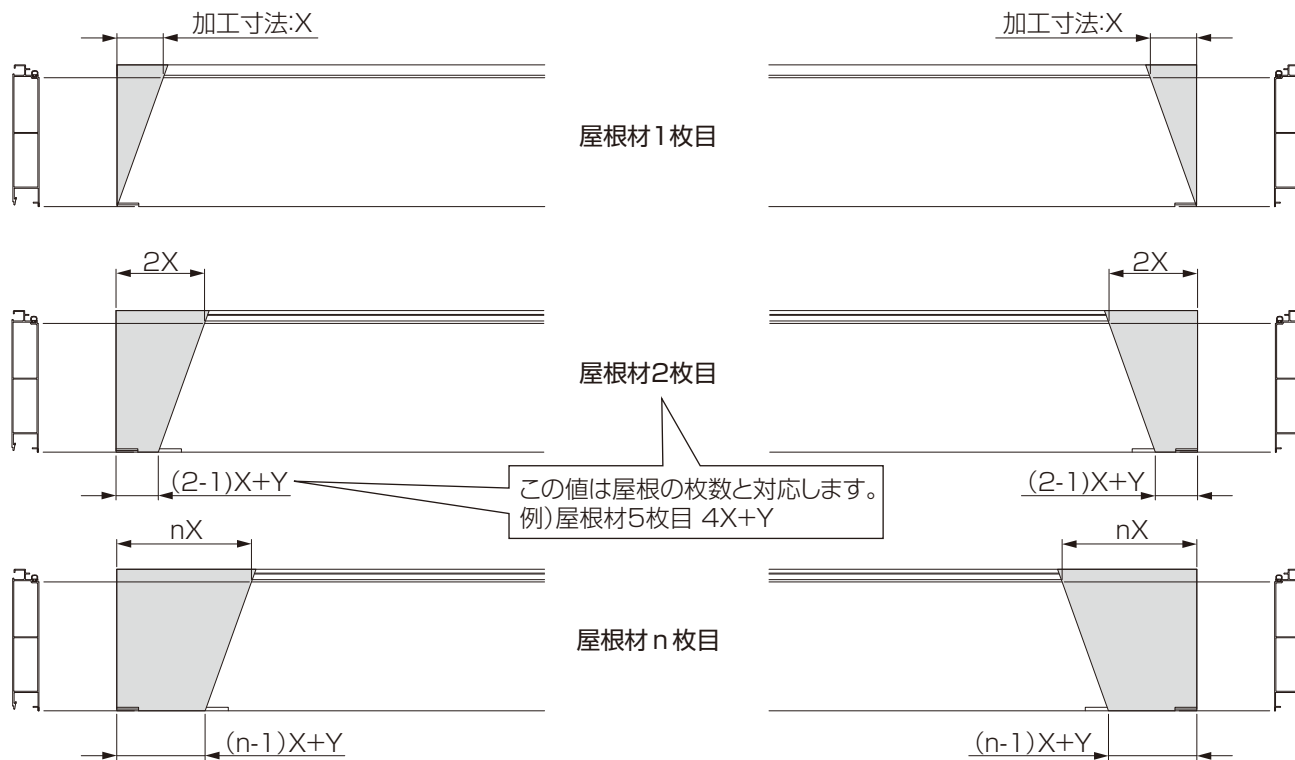
【右側切詰め】の場合





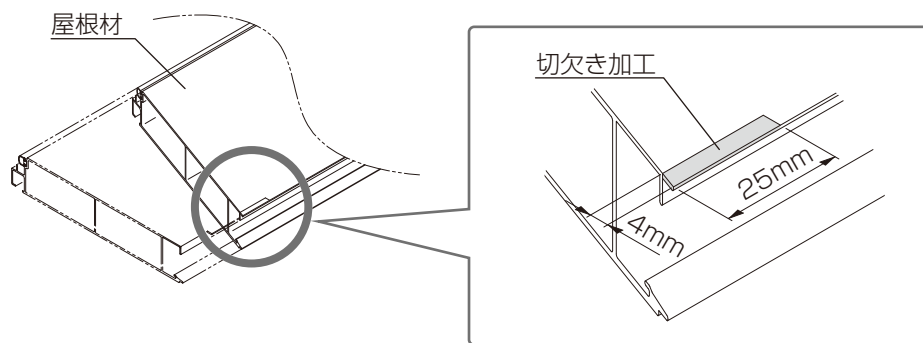
## ●後枠側切詰めの場合

※前枠側の屋根材を1枚目として加工説明します。



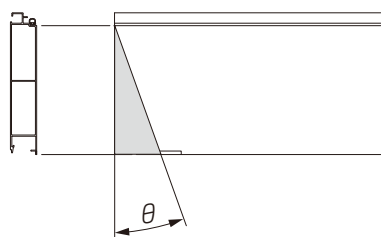
(4)屋根材を斜めに切断加工してください。

(5)斜め加工した屋根材フィン部の切欠き加工をしてください。



(6)P14、19に戻り、L4=Dとして他の部材の加工をしてください。

なお、角度 $\theta$ は切断した屋根材から求めてください。



## ■ $\theta$ が整数でなくても加工が可能な場合(隅切り)

(1) L4, W4から加工寸法Xを計算し、求めてください。

$$\begin{array}{|c|} \hline X \\ \hline \end{array} = 149 \times \begin{array}{|c|} \hline L4 \\ \hline \end{array} \div \left( \begin{array}{|c|} \hline W4 \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|c|} \hline \text{前枠側切詰} & 154 \\ \hline \text{後枠側切詰} & 145 \\ \hline \end{array} \right)$$

(2) 求めたXを参考にし、表20からYを求めてください。

表20

X	Y
0~27	0
27~80	0.5
80~133	1
133~149	1.5

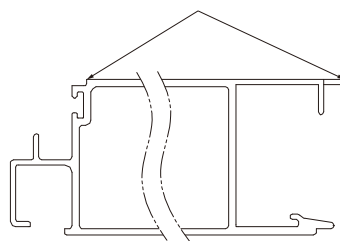
(3) 屋根材にケガキを入れてください。

### ● 前枠側切詰めの場合

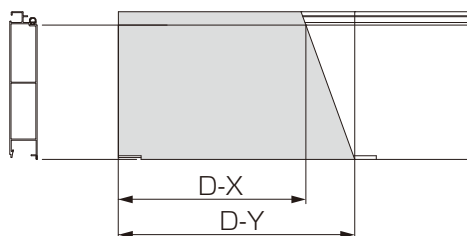
※前枠側の屋根材を1枚目として加工説明します。

お願い

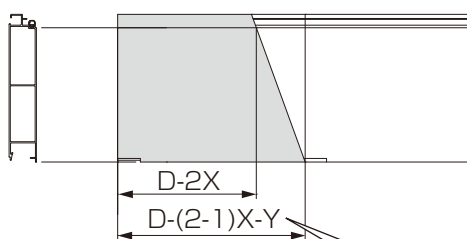
この角にケガキを入れてください



【左側切詰め】の場合

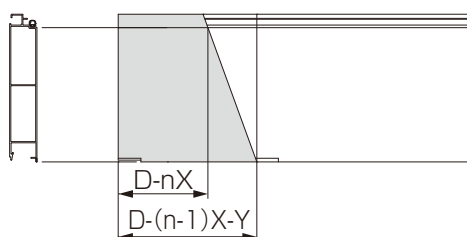


屋根材1枚目



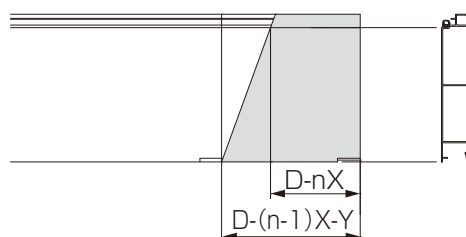
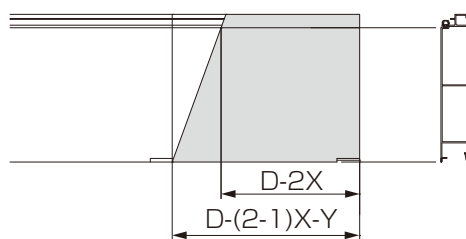
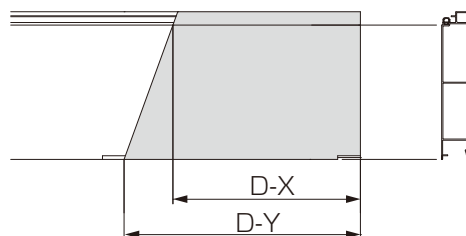
屋根材2枚目

この値は屋根の枚数と対応します。  
例) 屋根材5枚目 D-4X-Y



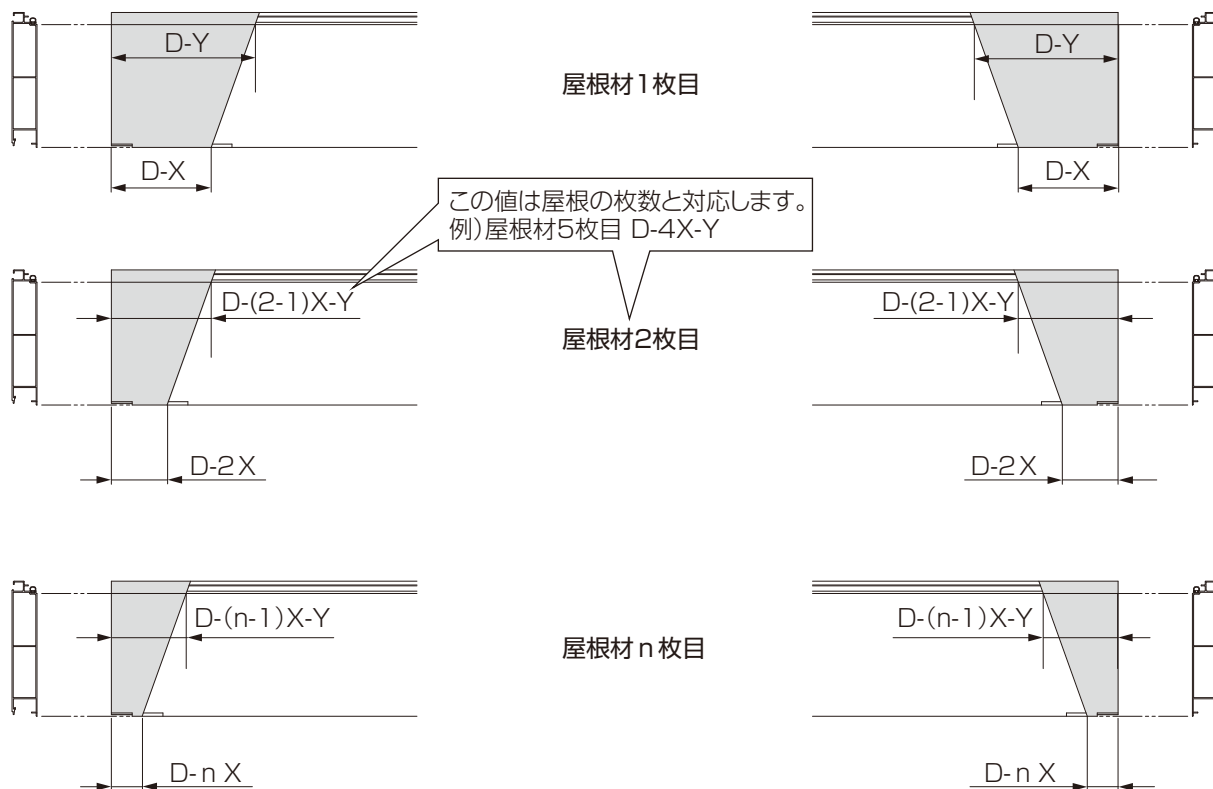
屋根材n枚目

【右側切詰め】の場合



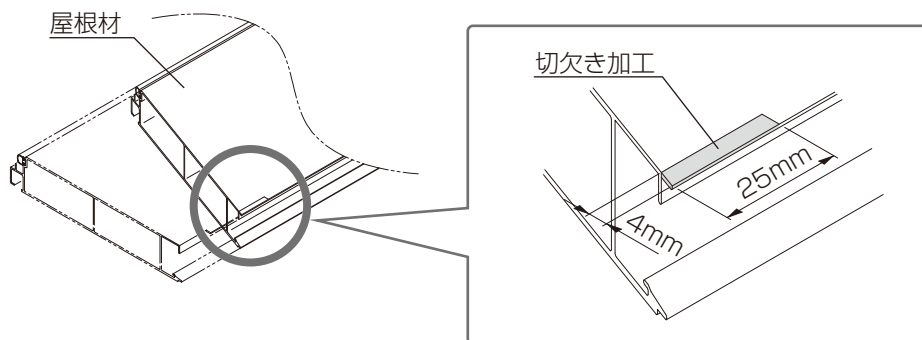
## ●後枠側切詰めの場合

※後枠側の屋根材を1枚目として加工説明します。



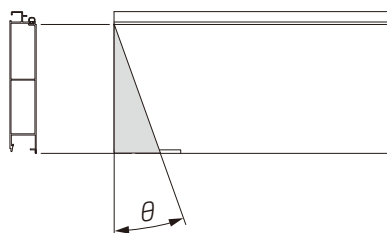
(4)屋根材を斜めに切断加工してください。

(5)斜め加工した屋根材フィン部の切欠き加工をしてください。



(6)P29、35に戻り、L4=D、W4=Cとして他の部材の加工をしてください。

なお、角度 $\theta$ は切断した屋根材から求めてください。



取説コード  
**D650**

JZZ634574  
201808A\_1048